

無停電電源装置

無停電電源装置

1.概要

型名		製品名	備考
Smart-UPS			
N8180-34 (Smart-UPS)		無停電電源装置(500VA)	PowerChute Business Edition v.7.0(インタフェースケーブルつき)添付*1
N8180-11 (Smart-UPS)		無停電電源装置(700VA)	
N8180-45 (Smart-UPS)		無停電電源装置(1000VA)	USB ケーブル添付*5
N8180-46 (Smart-UPS)		無停電電源装置(1500VA)	
N8142-22 (Smart-UPS)	1U	無停電電源装置(750VA) (ラックマウント用)	USB ケーブル添付*5
N8142-23 (Smart-UPS)	2U	無停電電源装置(1500VA) (ラックマウント用)	USB ケーブル添付*5
N8142-11A (Smart-UPS)	3U	無停電電源装置(3000VA) (ラックマウント用)	*3
N8142-24 (Smart-UPS)	3U	無停電電源装置(5000VA) (ラックマウント用)	AC200V 入出力タイプ(入力：NEMA L6-30P、出力：NEMA L6-30R×2個、L6-20R×2個)。 N8180-47 (AC タップ：NEMA L6-30R→L6-15R×6個) AC100V 給電用に N8180-43 (電圧変換トランス) 必要。
冗長 UPS			
N8142-17A (冗長 UPS) 冗長無停電電源装置	8U	冗長無停電電源装置 (2000VA:入出力 200V) (ラックマウント用)	N8180-43 必須(接続機器が AC100V 入力の場合必須) SNMP カード標準実装*2 標準構成: N8142-19×2<1+1 冗長>,N8142-20×1 冗長 UPS 2000VA 最大構成:N8142-17A (標準構成) +(N8142-19/-20)×2 *4 冗長 UPS 6000VA
N8142-19 (冗長 UPS) 冗長 UPS 用 パワーモジュール	—	N8142-17A 用 パワーモジュール	N8142-17A 用 増設/保守用(2000VA)パワーモジュール 最大 4 台(3+1 冗長)実装可能 *4
N8142-20 (冗長 UPS) 冗長 UPS 用 バッテリーモジュール	—	N8142-17A 用 バッテリーモジュール	N8142-17A 用 増設/保守用(2000VA)バッテリーモジュール 最大 3 台実装可能 *4
N8180-43 (トランス)冗 長 UPS 用電 圧変換トランス	2U	N8142-17A/-24 用 電圧変換トランス	N8142-17A/-24 用 200V->100V 電圧変換トランス 接続機器が AC100V 入力の場合必須 N8142-17A フル構成(6000VA)接続で 3500VA 出力

*1 添付されている PowerChute Business Edition は v.7.0 (Windows 2000/2003、WindowsXP、Linux 対応)。

*2 N8142-17A に標準実装されている SNMP カードの挿抜および他 UPS への流用不可

*3 140Ra-7 はオプションの Disk 増設ユニット増設時サポート不可

*4 N8142-19 および N8142-20 の増設はセットで行なうこと。

“・冗長無停電電源装置 パワー／バッテリーモジュール増設パターン” を参照のこと

*5 添付されている USB ケーブルは UPS 制御ソフトが PowerChuteBusinessEdition の時に使用可。

2.機能仕様

	N8180-34 *4	N8180-11	N8180-45	N8180-46
種類	Smart-UPS			
形状	タワー型			
電源供給方式	常時商用方式			
入力周波数限度(Hz)	47～63Hz			
入力電圧帯(V)	AC81～124(範囲外はバッテリー運転)			
定格出力電圧(V)	AC100±10%			
有効電力(W)	320	450	670	980
皮相電力(VA)	500	700	1000	1500
定格出力周波数(Hz)	50/60±4%			
形式	シール型鉛蓄電池			
バックアップ時間(分)*1	5		6	7
バッテリー期待寿命(年)*1	4.5	3		
充電時間(h) *1	6	6	6	6
コンセント形状	並行二極アース付き			
電源ケーブル長	1.8m			
使用環境温度	10～40℃			
制御ソフトウェア*2	サーバ OS : Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PC+セット) 《推奨》 (N8180-11/-45/-46 向け) - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) (N8180-11/-45/-46 向け) - ESMPRO/UPSManager CoreKit 《推奨》 (N8180-34 向け) - PowerChute Business Edition (N8180-34 は添付) - PowerChute <i>plus</i> - Windows 2000/Windows NT 4.0 UPS 機能 サーバ OS : Windows Server 2003 の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) 《推奨》 - PowerChute Business Edition (N8180-34 は添付) - Windows Server 2003 UPS 機能 サーバ OS : NetWare の場合 - PowerChute <i>plus</i> - NetWare UPS 機能 サーバ OS : Linux の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) 《推奨》 - PowerChute Business Edition - PowerChute <i>plus</i> (APC 社の Web からダウンロードするか各ディストリビュータにバンドルされている PowerChute <i>plus</i> を使用してください)*3 - Linux UPS 機能			

*1 使用環境による。詳細は「UPS(無停電電源装置)接続について」を参照。

*2 制御ソフトウェアの詳細については、後記の「3.制御ソフトウェア一覧」を参照。

*3 APC社のURLは以下のとおり。

<http://www.apc.co.jp/>

別途ケーブルの購入が必要です。

Linuxマスターサーバ：N8580-39（UPSインタフェースキット [Linux用] ）

Linuxスレーブサーバ：N8580-42（Share UPS接続ケーブル [Linux用] ）

*4 N8180-34 は SNMP 制御できません。

	N8142-22	N8142-23	N8142-11A	N8142-24
種類	Smart-UPS			
形状 (高さ[U 数])	ラック型 [1U]	ラック型 [2U]	ラック型 [3U]	
電源供給方式	常時商用方式			常時インバータ
入力周波数限度(Hz)	47~63Hz			45~65Hz
入力電圧帯(V)	AC81~124(範囲外はバッテリー運転)			AC160~280V単相
定格出力電圧(V)	AC100±10%			AC200±5%
有効電力(W)	480	980	2250	3500
皮相電力(VA)	750	1500	3000	5000
定格出力周波数(Hz)	50/60±4%			50/60±3%
形式	シール型鉛蓄電池			
バックアップ時間(分) *1	5			
バッテリー期待寿命(年) *1	3			
充電時間(h) *1	6			
コンセント形状	並行二極アース付き		回し固定プラグ (NEMAL5-30P) *4	回し固定プラグ (NEMAL6-30P) *5
電源ケーブル長	1.8m			2.9m
使用環境温度	10~40℃			
制御ソフトウェア*2	サーバ OS : Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PC+セット) 《推奨》 - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) - PowerChute Business Edition - PowerChute <i>plus</i> - Windows 2000/Windows NT 4.0 UPS 機能 サーバ OS : Windows Server 2003 の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) 《推奨》 - PowerChute Business Edition - Windows Server 2003 UPS 機能 サーバ OS : NetWare の場合 - PowerChute <i>plus</i> - NetWare UPS 機能 サーバ OS : Linux の場合 [SNMP 制御] - ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux [COM 制御] - ESMPRO/UPSManager(PCBE セット) 《推奨》 - PowerChute Business Edition - PowerChute <i>plus</i>(APC社のWebからダウンロードするか各ディストリビュータにバンドルされているPowerChute<i>plus</i>を使用してください)*3 - Linux UPS 機能			

*1 使用環境による。詳細は「UPS(無停電電源装置)接続について」を参照。

*2 制御ソフトウェアの詳細については、後記の「3.制御ソフトウェア一覧」を参照。

N8142-24 は PowerChute *plus*, PowerChute Business Edition 6.1 未対応、SNMP カード 標準搭載。

*3 APC社のURLは以下のとおり。

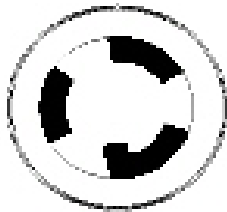
<http://www.apc.co.jp/>

別途ケーブル (N8580-39 UPSインタフェースキット [Linux用]) の購入が必要です。

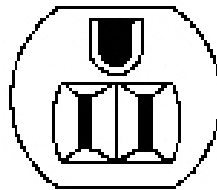
*4 NEMA L5-30P コネクタ使用の為コンセント工事必要 (接続負荷合計 2250VA まで使用可能)
2250-3000VA 負荷接続の場合、入力プラグ(HARD WIRE)変更工事が必要。

*5 NEMA L6-30P コネクタ使用の為コンセント工事必要（接続負荷合計 5000VA まで使用可能）。
N8142-24 は AC200V 入出力タイプの UPS です。AC 入力に回し固定プラグ(NEMA L6-30P:AC200V)を使用し、AC 出力に回し固定コンセント(AC200V/30A:NEMAL6-30R×2, AC200V/20A:NEMAL6-20R×2)を実装しています。回し固定プラグ(NEMA L6-30P)接続するためにコンセント(L6-30R)設置電気工事が必要です。AC200V の負荷装置を接続する場合、UPS の AC200V/30A (NEMAL6-30R) または AC200V/20A (NEMAL6-20R)のコンセントに接続するか、AC200V/30A (NEMAL6-30R)から AC200V/15A (L6-15R)コンセントに分配する AC タップ(N8180-47:L6-15R×6)を使用して AC200V を給電できます。AC100V の負荷装置を接続する場合は、本 UPS に別オプションの電圧変換トランス(N8180-43:L6-30R に接続)を接続して AC100V (L5-15R×12)に変換可能です。変換トランスを併用する場合、保守対応のために、UPS 用と別に商用コンセント(L6-30R)を1口追加設置が必要です。

【コネクタ形状について】



[N8142-11A]
NEMA L5-30P 用の
コンセント形状
(工事必要)



平行 2 極アース付用の
コンセント形状



[N8142-24]
NEMA L6-30P 用の
コンセント形状
(AC200V) (工事必要)

	N8142-17A (N8180-43) *6
種類	冗長無停電電源装置本体 (電圧変換トランス) *6
形状(高さ[U 数])	ラック型 N8142-17A本体[8U] (N8180-43電圧変換トランス[2U]) *6
電源供給方式	常時インバータ方式
入力周波数限度(Hz)	47-63Hz
入力電圧帯(V)	N8142-17A本体側入力 155-276V単相 (N8180-43電圧変換トランス側入力 180-220V単相) *6
定格出力電圧(V) (インバータ動作時)	N8142-17A本体 AC200V±3%：定常状態 ±5%：過渡状態 (N8180-43電圧変換トランス AC100V±10%出力) *6
有効電力(W) *5	N8142-17A 本体(接続機器が AC200V 入力の場合に接続) 標準構成(パワーモジュール<1+1>,バッテリーモジュール 1) :1400W 標準構成+(パワー/バッテリー)各 1 セット追加 :2800W 標準構成+(パワー/バッテリー)各 2 セット追加 :4200W N8180-43 電圧変換トランス(接続機器が AC100V 入力の場合に接続) *6 標準構成(パワーモジュール<1+1>,バッテリーモジュール 1) :1260W 標準構成+(パワー/バッテリー)各 1 セット追加 :2520W 標準構成+(パワー/バッテリー)各 2 セット追加 :3500W
皮相電力(VA) *5	N8142-17A 本体(接続機器が AC200V 入力の場合に接続) 標準構成(パワーモジュール<1+1>,バッテリーモジュール 1) :2000VA 標準構成+(パワー/バッテリー)各 1 セット追加 :4000VA 標準構成+(パワー/バッテリー)各 2 セット追加 :6000VA N8180-43 電圧変換トランス(接続機器が AC100V 入力の場合に接続) *6 標準構成(パワーモジュール<1+1>,バッテリーモジュール 1) :1800VA 標準構成+(パワー/バッテリー)各 1 セット追加 :3500VA 標準構成+(パワー/バッテリー)各 2 セット追加 :3500VA
定格出力周波数(Hz)	50/60Hz(設定変更可能)
形式	シール型鉛蓄電池
バックアップ時間(分)*1	5
バッテリー期待寿命(年)*1	3
充電時間(h)*1	4
コンセント形状	N8142-17A本体 入力プラグ NEMAL6-30P *4 出力コンセント MENALP-30R(30A/250V):1個 MENALP-20R(20A/250V):2個 (N8180-43電圧変換トランス) *6 入力プラグ NEMAL6-30P 出力コンセント MENA5-15R:12個(並行二極アース付き)*6
電源ケーブル長	N8142-17A本体(2 m) (N8180-43電圧変換トランス側(1 m)) *6
使用環境温度	10～40℃

制御ソフトウェア*2	サーバ OS : Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合 [SNMP 制御] ・ ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise [COM 制御] ・ ESMPRO/UPSManager(PC+セット) 《推奨》、ESMPRO/AutomaticRunningController ・ PowerChute <i>plus</i> 5.2J 以降 サーバ OS : Windows Server 2003 の場合 [SNMP 制御] ・ ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise サーバ OS : NetWare の場合 ・ PowerChute <i>plus</i> サーバ OS : Linux の場合 [SNMP 制御] ・ ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux [COM 制御] ・ PowerChute <i>plus</i>(APC 社の Web からダウンロードするか各ディストリビューターにバンドルされている PowerChute<i>plus</i> を使用してください)*3 ・ Linux UPS 機能
------------	--

*1 使用環境による。詳細は「UPS(無停電電源装置)接続について」を参照。

*2 制御ソフトウェアの詳細については、後記の「3.制御ソフトウェア一覧」を参照。

*3 APC社のURLは以下のとおり。

<http://www.apc.co.jp/>

別途ケーブル (N8580-39 UPSインタフェースキット [Linux用]) の購入が必要です。

*4 N8142-17A 本体の標準入力プラグ (NEMA L6-30P)使用時は 25A です。

標準入力プラグ(NEMA L6-30P)のままでは、最大容量を使用することはできません。

<25A/5000VA> まで使用可能。

最大容量<30A/3000VA>を必要とする場合は、本装置標準の入力用ケーブル、プラグではなく #10AWG のケーブルを使用し、端子台接続に取り替える必要があります。

また、分電盤回路への接続には資格を有した電気技術者が行う必要があるため、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

*5 負荷はVA, W どちらも定格内になるように計算して接続してください。

AC200V入力機器の場合、単体で30Aを超える機器の接続はできません。

N8180-43電圧変換トランス側を使用した場合、AC200V入力機器は、単体で20Aを超える機器の接続はできません。

AC100V入力機器の場合、単体で15Aを超える機器の接続はできません。

詳細は“冗長無停電電源装置接続について”を参照してください。

*6 AC100V 入力機器を接続する場合、電圧変換トランス[N8180-43]が必須です。

【コネクタ形状について】



[N8142-17A]
NEMA L6-30P 用の
コンセント形状
(工事必要)



[N8142-17A]
圧着端子 (端子台接続)
(工事必要)

	N8142-19	
種類	冗長無停電電源装置(パワーモジュール)	
入力	定格入力電圧	155-276VAC単相
	定格入力周波数	47-63Hz
	定格入力電流	10A
	入力コンセント	N8142-17Aのロットに実装
出力	最大負荷	2000VA/1400W
	周波数	50/60Hz
その他	寸法 W×H×D(mm)	216×83×546
	質量(Kg)	8Kg

	N8142-20	
種類	冗長無停電電源装置(バッテリーモジュール)	
電気仕様	バッテリーの形式	小型シール鉛蓄電池
	バッテリーの期待寿命	3年(周囲温度25℃時)
	停電保持時間 (定格力率負荷時)	5分(購入初期時) 寿命時期は半減
	電圧	DC120V / 5Ah
その他	寸法 W×H×D(mm)	216×83×546
	質量(Kg)	22Kg
	実装	N8142-17のロットに実装

	N8180-43	
種類	冗長無停電電源装置(電圧変換トランス)	
入力	定格入力電圧	180-220VAC単相
	定格入力周波数	47-63Hz
	定格入力電流	30A
	入力コンセント	NEMA L6-30P
	電源コード長	1m
出力	周波数	47-63Hz
	出力電圧	100V±10% (入力電圧 : AC200V±3%)
	最大出力電力	3500VA
出力コンセント	NEMA 5-15R : 12個	
その他	寸法 W×H×D(mm)	483×89×660 (2U)
	質量(Kg)	43Kg

■常時商用方式(standby type UPS) [N8180-34/11/45/46,N8142-22/23/11A]

スタンバイ方式とも呼ばれる。

常時商用方式の UPS では、入力交流電流を UPS 内部のバッテリーチャージャに接続してバッテリーへの電力供給を行うと同時に、入力交流電源をそのまま外部出力(外部出力にコンピュータ機器を接続)に接続している。停電時にはバッテリーからの出力に切り替え、DC-AC インバータを通して外部出力に電力を供給する。このインバータ回路は、平常運用等は停止しているが、停電状態になったことを検知するとインバータを起動して出力を切り替える。この切り替えのため、数 msec ほど出力電力の途切れがあるが、一般的なコンピュータ機器では、電源投入時に発生するごく短時間の電力波形の乱れ(突入電流)では影響を受けない設計となっているため、20msec 程度までの波形の乱れは問題ないとされている。また、常時商用方式では、入力電圧の変動がそのまま出力に現れてしまう場合がある。但し、回路は単純なもので済むため、低コストで製造できる。

SmartUPS はラインインタラクティブ方式とも呼ばれる。

特徴は、内部トランスのタップ切換による電圧補正を用い、商用 100V±20%前後の継続的な電圧変動は、バッテリーを大きく消耗せずに出力を 100V±10%以内で運転する機能があること。

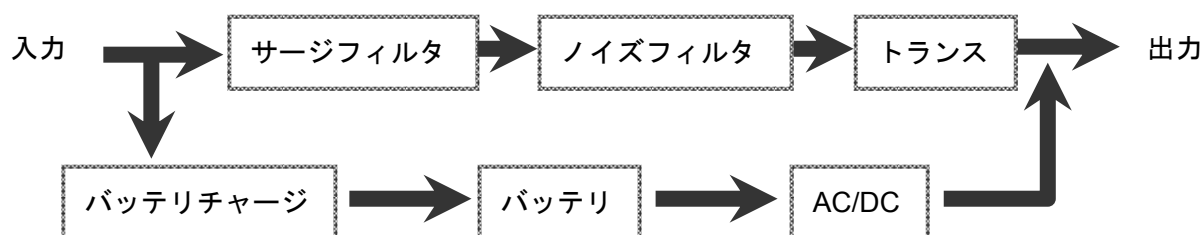
この機能を有する常時商用方式をラインインタラクティブ方式と呼ぶ。

■常時インバータ方式(on-line type UPS) [N8142-17A/-24]

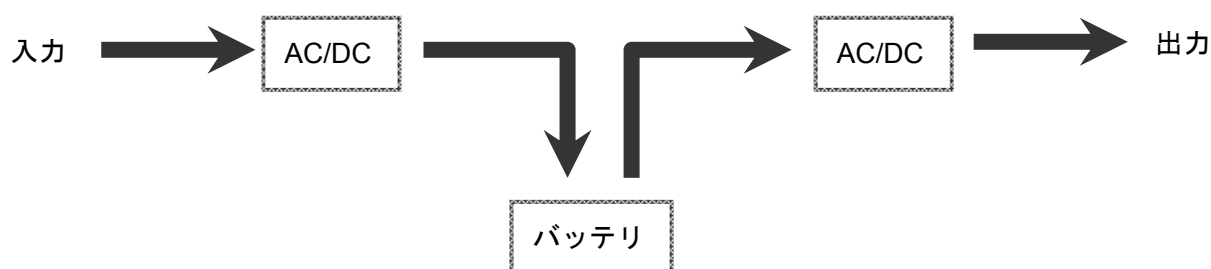
オンライン方式とも呼ばれる。

常時インバータ方式の UPS では、常にインバータからの出力が外部出力として使用される。平常運転時、入力された交流電力がバッテリーの充電とインバータへの入力の両方に利用される。このように常時インバータが駆動されるため消費電力が多いが、出力される電力はつねにインバータを経由しているため、入力電圧に変動があっても出力にはまったく影響がない。また、停電時も出力が乱れたり、途切れたりすることもない。但し、常時商用方式の UPS に比べて回路が複雑になるため価格が高価である。

ラインインタラクティブ方式



常時インバータ方式



3.制御ソフトウェア一覧

サーバ OS	運用形態	必須ソフトウェアおよび関連オプション
Windows 2000 Windows NT 4.0	ESMPRO/UPSManager を使用する場合《推奨》	UL1047-302 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PC+セット) *4 UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4
	ESMPRO/UPSManager を使用する場合で、無停電電源装置 500VA (N8180-34) *1 購入もしくは PowerChute plus (Ver5.11J 以降) または PowerChute Business Edition を単体で手配済みの場合《推奨》	UL1047-312 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 CoreKit
	PowerChute Business Edition と連携した ESMPRO/UPSManager を使用する場合	UL1047-103 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット)*5
	PowerChute Business Edition を使用する場合	UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0
	PowerChute plus を使用する場合*1	UL1057-201 PowerChute plus v5.2.3J for Windows NT 4.0 / Windows 2000 / Windows XP
	OS 標準の UPS サービスを使用する場合	N8580-04 UPS インタフェースキット
	N8180-32A Smart-UPS 用 SNMP カード*2 を使用して制御する場合	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 + UL1046-502 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1
Windows Server 2003	ESMPRO/UPSManager を使用する場合《推奨》	UL1047-103 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PCBE セット)*5 UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4
	ESMPRO/UPSManager を使用する場合で、PowerChute Business Edition を単体で手配済みの場合	UL1047-312 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 CoreKit
	PowerChute Business Edition を使用する場合	UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0
	OS 標準の UPS サービスを使用する場合	N8580-04 UPS インタフェースキット
	N8180-32A Smart-UPS 用 SNMP カード*2 を使用して制御する場合	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 + UL1046-502 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 *6
Windows NT 3.51	PowerChute plus を使用する場合	UL1057-001 PowerChute plus V5.11J for Windows NT
	OS 標準の UPS サービスを使用する場合	N8580-04 UPS インタフェースキット

NetWare	PowerChute <i>plus</i> を使用する 場合	UL2057-001 PowerChute <i>plus</i> V4.3.3 for NetWare
	OS 標準の UPS サービスを 使用する場合	N8580-04 UPS インタフェースキット
Linux	ESMPRO/UPSManager を使 用する場合 《推奨》	UL4001-102 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版)
	PowerChute Business Edition を使用する場合	UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0
	PowerChute <i>plus</i> を使用する 場合	APC 社の Web *3 からダウンロードするか各ディ ストリビュータにバンドルされている PowerChute <i>plus</i> + N8580-39 UPS インタフェースキット [Linux 用]
	OS 標準の UPS サービスを 使用する場合	N8580-39 UPS インタフェースキット [Linux 用]
	N8180-32A Smart-UPS 用 SNMP カード*2 を使用して 制御する場合	UL4008-003 ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1

*1 無停電電源装置 500VA (N8180-34) は PowerChute Business Edition v.7.0 を同梱。

*2 無停電電源装置 500VA (N8180-34) では使用不可。

*3 APC 社の URL は以下のとおり。

<http://www.apc.co.jp/>

*4 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セット)には以下の製品 (UL1057-201 相当) が含まれています。

- ・ PowerChute *plus* v5.2.3J for Windows NT4.0 / Windows 2000 / Windows XP
- ・ UPS インタフェースキット (1.8m ケーブル)

*5 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PCBE セット)には以下の製品 (UL1057-102 相当) が含まれていま
す。

- ・ PowerChute Business Edition v.7.0
- ・ UPS インタフェースキット (1.8m ケーブル)

USB 接続をサポートしている UPS 装置において、UPS に添付されている USB ケーブルにて USB
インタフェースを使用可。

Windows 2000/XP/Server 2003 環境でのみ USB インタフェース使用可。

但し COM との同時使用は不可。また Linux は USB インタフェース不可。

*6 ESS RL2003/06 より対応。

UPS(無停電電源装置)接続について

記載されている情報は、随時更新されます。必ず最新の情報に基づいて構成を組んでください。最新の情報については、「8 番街」(<http://nec8.com/>)を参照してください。

UPS および制御 SW の選択基準

(1) UPS の選択

N8142-17A につきましては、“冗長無停電電源装置 接続について” “冗長無停電電源装置 オプションボード実装パターン” および “冗長無停電電源装置 パワー/バッテリーモジュール増設パターン” を必ず参照してください。

(1)-1 UPS を選択する場合の消費電力計算

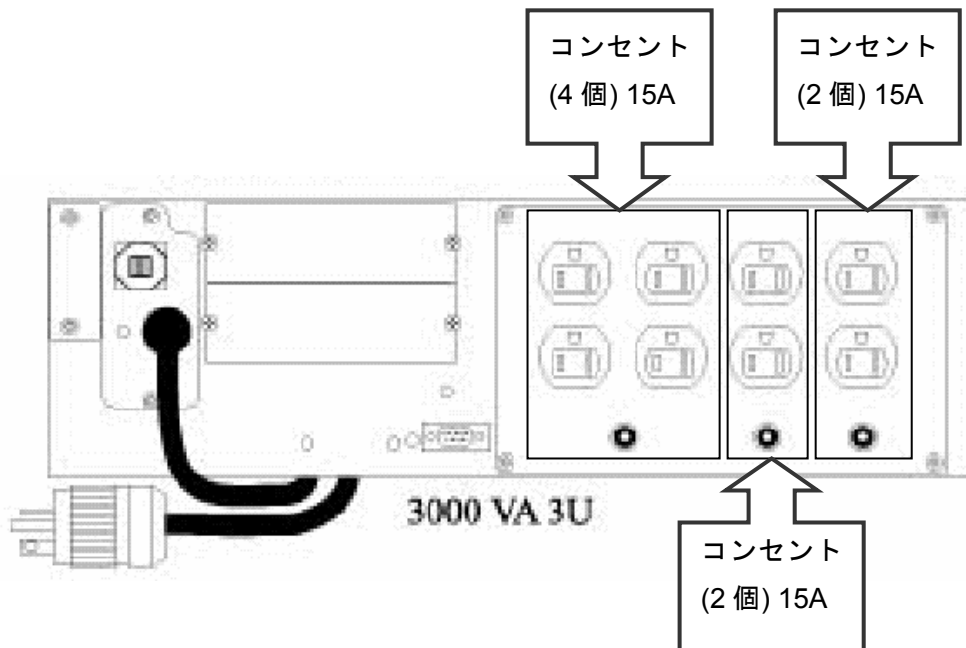
- ・ UPS の選択は UPS に接続する機器の消費電力（消費皮相電力(VA)および消費有効電力(W)のそれぞれ）の合計を算出し、その総消費電力とバッテリーバックアップ時間から選択してください。
- ・ 消費電力（消費皮相電力(VA)および消費有効電力(W)）とバッテリーバックアップ時間との関係は、(1)-3 の表の通りです。
- ・ この値は目安です。使用環境、条件により多少変動します。また、バッテリーの寿命末期ではバッテリー動作時間が初期値の約 50%となります。
- ・ バッテリーバックアップ時間は、バッテリーの寿命末期でのバッテリーバックアップ時間で算出してください。
- ・ UPS に接続する機器の消費皮相電力および消費有効電力の合計が、いずれも UPS の供給電力容量を超えた接続はできません。
- ・ 接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力は、ハードウェア諸元等を参考に、最大消費電力値を使用してください。
- ・ 接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力に、皮相電力(VA)のみ示されている場合は、その値を有効電力(W)として計算してください。(400VA→400W)
- ・ 接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器の消費電力に、有効電力(W)のみ示されている場合は、有効電力(W)に 1.4 を掛けた値を皮相電力(VA)として計算してください。(400W→560VA)
- ・ 接続する本体装置（サーバ等）や周辺機器に消費電流(A)のみ示されている場合は、消費電流(A)に 100 を掛けた値を皮相電力(VA)として計算してください。(12A→1200VA)

皮相電力：交流電圧（V）と交流電流（A）との積で、単位は（VA）

有効電力：皮相電力の内、実際に消費される電力分で、単位は（W）

N8142-11A の AC100V 出力コンセントには、下記のような接続制限があります。

各 AC 出力コンセントはグループ分けされており、各グループ毎に供給電力容量(15A)の制限があり、これを超えた接続はできません。



(1)-2 N8142-17A(冗長無停電電源)を選択する場合の消費電力計算および留意点

・ AC100V 入力機器を接続する場合

①N8142-17A 冗長無停電電源装置本体のAC出力は200Vです。

100V入力機器を接続するには、N8180-43電圧変換トランス(200V→100V変換出力)が必須です。

このトランスを使用した場合は、最大構成でも皮相電力(VA)は最大3500VAとなります。

②機器単体での定格容量(A)が、15Aを超える機器の接続はできません。

③接続機器の消費皮相電力(VA)および消費有効電力(W)の合計が、いずれも冗長無停電電源装置の供給電力容量を越えた接続はできません。

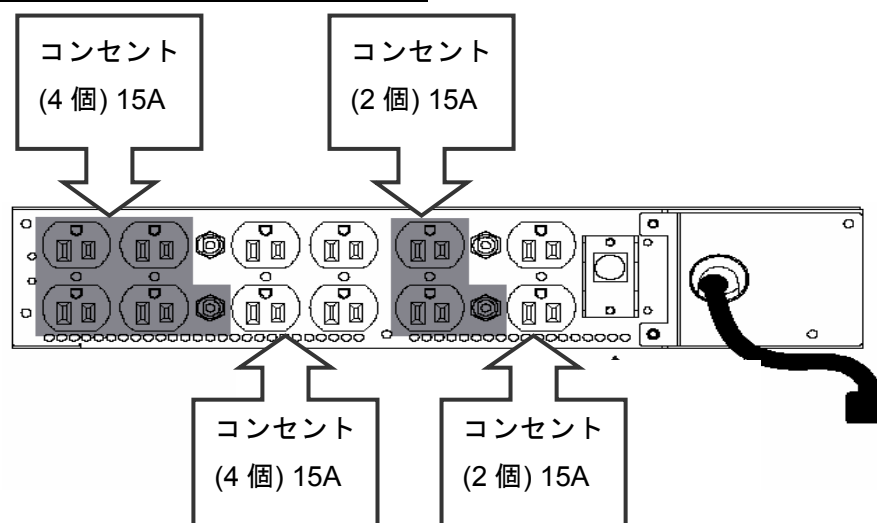
冗長無停電電源装置 供給電力容量[100V 入力機器]

		皮相電力(VA)	有効電力(W)
標準構成	パワーモジュール 2<1+1 冗長>	1800VA	1260W
拡張	パワーモジュール 3<2+1 冗長>	3500VA	2520W
拡張	パワーモジュール 4<3+1 冗長>	3500VA	3500W

④電圧変換トランス[N8180-43]の AC100V 出力コンセントには、下記のような接続制限があります。

各 AC 出力コンセントはグループ分けされており、各グループ毎に供給電力容量(15A)の制限があり、これを超えた接続はできません。

電圧変換トランス コンセントグループ



⑤消費電流(A)の計算について

- ・ 接続する本体装置(サーバなど)や周辺機器の皮相電力(VA),有効電力(W)または皮相電力(VA),のみが示されている場合は、皮相電力(VA)を入力電圧 100(V)で割った値を消費電流(A)として計算してください。(400VA→4A)
- ・ 接続する本体装置(サーバなど)や周辺機器に有効電力(W)のみ示されている場合は、有効電力(W)に1.4を掛けた値を皮相電力(VA)として計算し、更に入力電圧 100(V)で割った値を消費電流(A)として計算してください。(400W→560VA→5.6A)

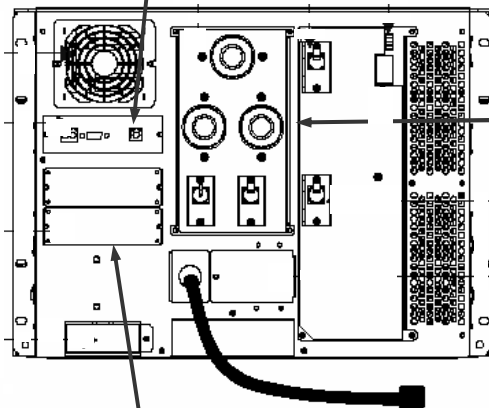
・冗長無停電電源装置オプションボード実装パターン

1. Symmetra通信カード(N8142-17A標準実装)

Com Port経由で、冗長無停電電源装置の制御可能

※「UPS接続構成例」を参照

- ① 基本的な構成(サーバ1台:UPS1台)
- ② 増設筐体を含む構成1(サーバ1台:UPS1台:増設筐体1台)
- ③ マルチサーバ構成(サーバ3台まで:UPS1台)
- ④ マルチサーバ構成(サーバ4台以上15台以下:UPS1台)



3. 電源変換トランス用 30A コンセント
電圧変換トランス(N8180-43)の入力
プラグはここに接続

2. オプションスロット(1スロット)

上段：SNMPカード専用(N8142-17A標準実装)

LAN経由で、冗長無停電電源装置の制御可能

下段：オプションカード実装可能

別売のUPSインタフェース拡張ボード[N8180-14]が

実装可能。マルチサーバ構成(サーバ3台まで:UPS1台)

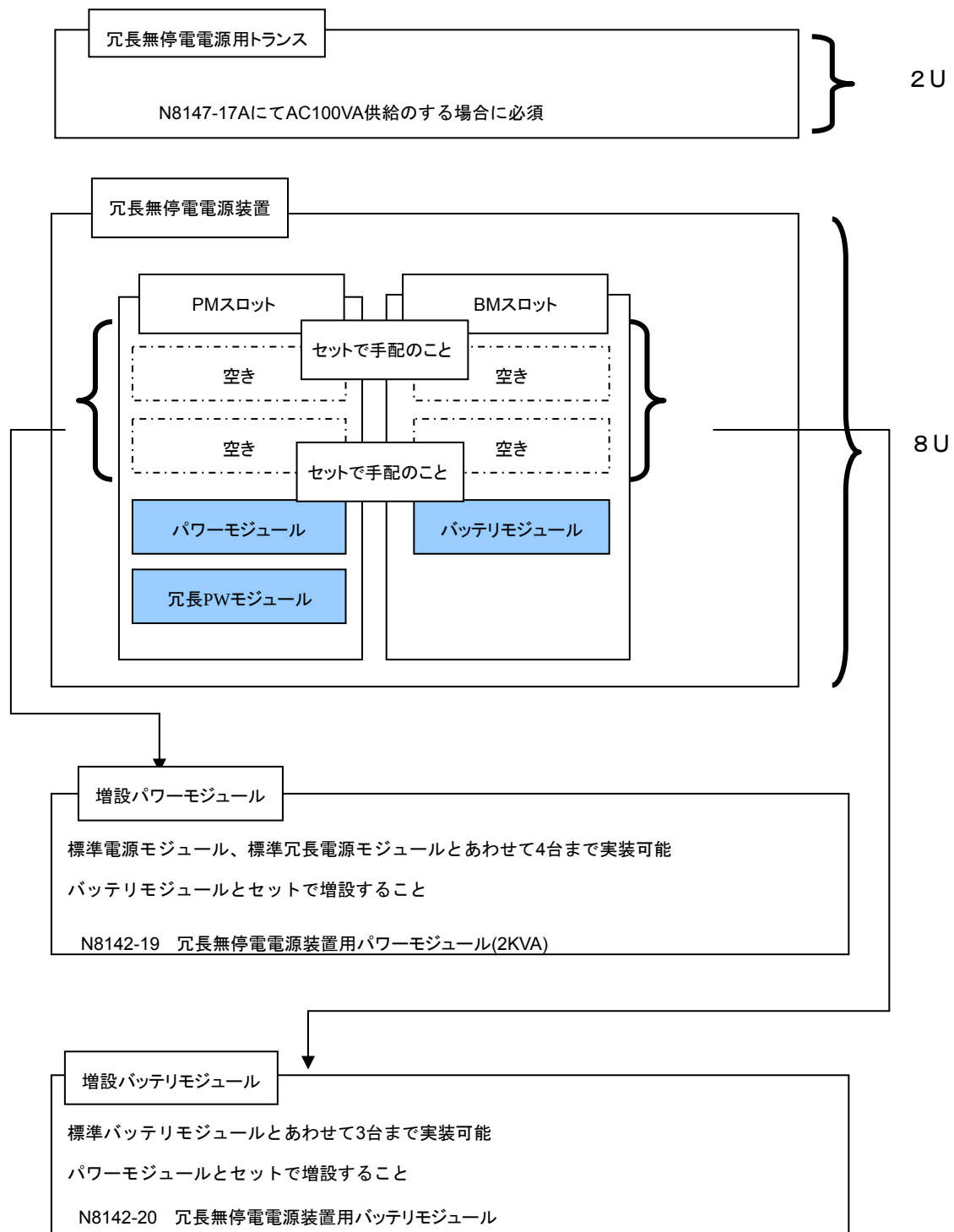
※ 「UPS接続構成例」を参照

※ オプションスロットにSNMPカード2枚実装不可

LAN/シリアルポートを併用したUPS制御は不可

SNMPカードの挿抜および他UPSへの流用不可

・冗長無停電電源装置 パワー／バッテリーモジュール増設パターン



(1)-3 UPS(N8142-17A を含む)のバッテリーバックアップ時間

接続機器の消費電力とタワータイプ UPS のバッテリーバックアップ時間

(単位：分)

UPS モデル 消費電力		N8180-34		N8180-11		N8180-45		N8180-46	
		500/320		700/450		1000/670		1500/980	
VA	W	初期	末期	初期	末期	初期	末期	初期	末期
100	70	60	30	85	42	100	50	163	81
200	140	23	11	38	19	58	29	90	45
300	210	15	7.5	20	10	36	18	57	28
400	280	9	4.5	14	7	24	12	37	18
500	350	7※	3.5	9	4.5	18	9	28	14
600	420			7	3.5	13	6.5	21	10.5
700	490			5※	2.5	11	5.5	18	9
800	560					8	4	15	7.5
900	630					7	3.5	12	6
1000	700					6.6※	3.3	11	5.5
1200	840							8	4
1500	980							7	3.5
1600	1120								
2000	1400								
2200	1540								
2500	1750								
3000	2100								

初期：バッテリー使用開始時/末期：バッテリー交換時期(「UPS のバッテリー寿命について」参照)

※表内では負荷機器の消費電力(W 値)がUPS の容量を超えておりますが、ご使用頂く際は負荷容量(VA/W)を UPS の容量内に収めること。

接続機器の消費電力とラックタイプ UPS のバッテリーバックアップ時間

(単位：分)

モデル		N8142-11A		N8142-23		N8142-22		AC200V モデル		N8142-24	
容量VA／容量W		3000/2250		1500/980		750/480				5000/3500	
VA	W	初期	末期	初期	末期	初期	末期	VA	W	初期	末期
100	70	207	103	163	81	48	24	1000	700	47	23.5
200	140	135	67	90	45	23	11.5	2000	1400	21	10.5
300	210	96	48	57	28	15	7.5	2570	1800	15	7.5
400	280	74	37	39	19	11	5.5	3570	2500	9	4.5
500	350	58	29	29	14	9	4.5	4280	3000	8	4
600	420	47	23	21	10	7	3.5	5000	3500	5	2.5
700	490	38	19	18	9	6.5※	3.2				
750	525	—	—	—	—	6※	3				
800	560	33	16	15	7						
900	630	29	14	12	6						
1000	700	26	13	11	5						
1200	840	20	10	8	4						
1400	980	16	8	7	3						
1600	1120	13	6.5								
2000	1400	10	5								
2200	1540	8	4								
2500	1750	6	3								
3000	2100	5	2.5								

※表内では負荷機器の消費電力(W 値)がUPS の容量を超えておりますが、ご使用頂く際は負荷容量(VA/W)を UPS の容量内に収めること。

初期：バッテリー使用開始時/末期：バッテリー交換時期(「UPSのバッテリー寿命について」参照)

接続機器の消費電力と冗長 UPS のバッテリーバックアップ時間

(単位：分)

消費電力 モデル 構成		N8142-17A					
		2000/1400 (1800/1260)*1		4000/2800 (3500/2520)*2		6000/4200 (3500/3500)*3	
VA	W	初期	末期	初期	末期	初期	末期
500	350	42	21	105	52.5	173	85.5
1000	700	19	9.5	49	24.5	84	42
1500	1050	12	6	30	15	52	26
2000	1400	7	3.5	21	10.5	36	18
2500	1750			14	7	26	13
3000	2100			11	5.5	20	10
3500	2450			9	4.5	16	8
4000	2800			7	3.5	14	7
4500	3150					11	5.5
5000	3500					10	5
5500	3850					9	4.5
6000	4200					7	3.5

初期：バッテリー使用開始時/末期：バッテリー交換時期(「UPS のバッテリー寿命について」参照)

*1 標準構成: [N8142-19(Powerモジュール)1+N8142-19(冗長モジュール)1、

N8142-20(バッテリーモジュール)1、N8142-43電圧変換トランス1]

*2 1セット増設: [標準構成に N8142-19(Powerモジュール)1、N8142-20(バッテリーモジュール)1を増設]

*3 最大構成: [標準構成に N8142-19(Power モジュール)2、N8142-20(バッテリーモジュール)2 を増設]

接続機器消費電力容量と推奨 UPS

	皮相電力(VA)	有効電力(W)	推奨 UPS
Express5800/110Ca	320	310	N8180-11/45
Express5800/110Sb	320	310	N8180-11/45
Express5800/110GaS	195	190	N8180-11/34
Express5800/110Ga	300	280	N8180-11/45
Express5800/110GbS	320	310	N8180-11/45
Express5800/110Gb	400	380	N8180-45/46
Express5800/110Ei	420	415	N8180-45/46
Express5800/120Gb	640	625	N8180-46
Express5800/120Eg	640	625	N8180-46
Express5800/120Lh(ホットプラグ ライトモデル)	670	660	N8180-46
Express5800/120Lh(ホットプラグ モデル)	670	660	N8180-46
Express5800/140He	1800	1764	
Express5800/110GR-1b	280	270	N8142-23/22
Express5800/110Re-1	280	270	N8142-23
Express5800/110Rf-1	340	335	N8142-23
Express5800/120GR-1b	470	465	N8142-23
Express5800/120Re-1(SerialATA ディスクレス モデル)	430	425	N8142-23
Express5800/120Re-1(SCSI ディスクレス モデル)	470	465	N8142-23
Express5800/120GR-2b	610	600	N8142-23
Express5800/120Rg-2	610	600	N8142-23
Express5800/140Rd-4	1200	1176	N8142-11A
Express5800/180Rd-4	1200	1180	N8142-11A
iStorageS2130	820	804	N8142-11A/23
iStorageS1130	665	650	N8142-23
IStorage ディスクアレイ装置収納ユニット	510	500	N8142-23
ST12000	400	380	N8142-23
Express5800/410Ea		845(1190)	N8142-11A/23
Express5800/420La		845(1190)	N8142-11A/23

※消費電力は筐体内に内蔵したオプションの電力を含む。

※推奨 UPS は、基本的な構成（サーバ1台：UPS1台 接続）の場合。

※()内は 200V 時の有効電力

旧モデル接続機器消費電力容量

	皮相電力(VA)	有効電力(W)
Express5800/110EeS	275	220
Express5800/110Eb,110Ec,110Ed,110Ee,110Ef	275	220
Express5800/110Eg	300	280
Express5800/110Eh	400	380
Express5800/110La	220	217
Express5800/110Lb	275	220
Express5800/120Ga	420	410
Express5800/120Ed	280	270
Express5800/120Ee	275	264
Express5800/120Ef	420	410
Express5800/120La,120Lb	220	217
Express5800/120Lc/-R	290	276
Express5800/120Ld,120Le	330	320
Express5800/120Lf(ホットプラグ ライトモデル)	280	275
Express5800/120Lf(ホットプラグ モデル)	420	410
Express5800/120Lg(ホットプラグ ライトモデル)	440	430
Express5800/120Lg(ホットプラグ モデル)	480	465
Express5800/120Ma/-R	255	250
Express5800/120Mb/-R	335	330
Express5800/120Mc	360	350
Express5800/120Md	415	400
Express5800/120Me	530	520
Express5800/120Mf	530	520
Express5800/120Ha/-R	335	330
Express5800/140Ma/-R	670	655
Express5800/140Ha/-R	1560	1500
Express5800/140Hb	650	600
Express5800/140Hc	915	900

Express5800/140Hd	915	900
Express5800/180Ha/-R	1750	1680
Express5800/110GR-1a	210	200
Exprpess5800/110Ra-1, 110Rb-1	128	125
Exprpess5800/110Rc-1	153	150
Exprpess5800/110Rd-1	210	200
Express5800/120GR-1a	300	290
Exprpess5800/120Ra-1	240	235
Exprpess5800/120Rb-1	200	198
Exprpess5800/120Rc-1	300	290
Exprpess5800/120Rd-1	300	290
Express5800/120GR-2a	400	390
Exprpess5800/120Ra2	400	390
Exprpess5800/120Rb-2	400	390
Exprpess5800/120Rc-2	255	250
Exprpess5800/120Rd-2	360	350
Exprpess5800/120Re-2	400	390
Exprpess5800/120Rf-2	400	390
Exprpess5800/140Ra-4	550	500
Exprpess5800/140Rb-4	825	800
Exprpess5800/140Rc-4	825	800
Express5800/140Ra-7(ラックモデル)	612	600
Express5800/140Ra-7 (タワーモデル)	935	934
Express5800/180Ra-7	1020	1000
Express5800/180Rb-7	918	900
Express5800/180Rc-4	1000	980
基本装置(Express5800/100DPro)	275	220
基本処理装置(Express5800/110)	324	157
基本処理装置(Express5800/110Pro)	400	396
基本装置(Express5800/110DPro)	200	197
基本処理装置(Express5800/120)	150	95
基本処理装置(Express5800/120Pro)	400	396
基本処理装置(Express5800/130)	333	242
基本装置(Express5800/130DPro)	500	450
基本装置(Express5800/130RPro)	500	450
基本処理装置(Express5800/140)	333	242
基本処理装置(Express5800/150R)	650	637
基本処理装置(Express5800/150Pro)	915	870
基本装置(Express5800/150DPro)	925	530
基本装置(Express5800/150RPro)	925	530
基本処理装置(Express5800/160Pro)	724	700
基本処理装置(Express5800/160RPro)[N8500-131/131A]	650	600
基本処理装置(Express5800/160RPro)[N8500-186]	1000	600
基本処理装置(Express5800/170)[N8500-62/-63]	657	644
基本処理装置(Express5800/180Pro)[N8500-135]	1450	725
基本処理装置(Express5800/180Pro)[N8500-126/-129]	1370	1300
基本装置(Express5800/180DPro)	1150	650
基本装置(Express5800/180RPro)	1150	650
基本装置(Express5800/190DPro)	1420	1350
基本処理装置(Express5800/220)	500	490
基本処理装置(Express5800/230)	500	490
基本処理装置(Express5800/240)	680	673
基本処理装置(Express5800/250R)	857	600
基本処理装置(Express5800/250)	680	673
基本処理装置(Express5800/260)	680	673

※消費電力は筐体内に内蔵したオプションの電力を含む。

オプション機器接続機器消費電力容量

	皮相電力(VA)	有効電力(W)
Disk 増設筐体[N8590-23]	344	330
Disk 増設筐体[N8590-02/-02A]	230	200

Disk 増設筐体[[N8590-03]	480	413
Disk 増設筐体[N8590-13]	250	215
Disk 増設筐体[N8190-64]	577	519
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8141-27A]	174	157
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8141-26A]	557	519
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-19]	344	330
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-01]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-06]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8541-12]	250	215
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8141-32]	577	519
Disk 増設ユニット(ラックマウント用)[N8141-36/36A]	577	519
ディスクアレイ装置[N7736-91]	900	880
ディスクアレイ装置[N7736-94]	900	880
ディスクアレイ装置[N8590-19]	200	200
ディスクアレイ装置[N8590-20]	200	200
ディスクアレイ装置[N8590-28]	220	200
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N7736-93]	900	880
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N7736-95]	900	880
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8541-16]	200	200
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8541-18]	200	200
ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8590-29]	220	200
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-09]	1400	1380
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-31]	900	860
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-31A]	900	860
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-50]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-50A]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用)[N8590-08]	1000	980
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-32]	550	500
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-32A]	550	500
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-51]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-51A]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-52]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-53]	400	392
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8590-45]	900	860
FibreChannel ディスクアレイ装置(ラックマウント用) [N8590-46]	550	498
FibreChannel ディスクアレイ装置(ST12000) [N8190-82A]	400	380
FibreChannel ディスクアレイ装置[N8190-110]	400	380
ディスクアレイ装置収納ユニット[N8190-87A]	380	360
ディスクアレイ用収納ユニット(ラックマウント用)[N8590-07]	500	490
SATA ディスクアレイ装置「N8190-121」	400	380
サーバスイッチユニット(2Server)[N8191-04]	16.5	8.1
サーバスイッチユニット(8Server)[N8191-05]	7.9	4.5
デバイス増設ユニット[N8141-28A/28B]	336	200
15 型カラーディスプレイ[N8171-30/30B]	120	75
15 型カラーディスプレイ[N8571-17]	150	75
15 型カラーディスプレイ[N8571-21]	120	75
17 型カラーディスプレイ[N8571-15]	150	75
21 型カラーディスプレイ[N8571-20]	200	145
22 型カラーディスプレイ[N8171-31]	130	130
15 型液晶ディスプレイ[N8171-32]	40	24
15 型液晶ディスプレイ[N8171-34]	60	30
15 型液晶ディスプレイ[N8171-42]	37	23
15 型液晶ディスプレイ[N8571-16]	40	25
15 型液晶ディスプレイ[N8571-25]	80	29
16 型液晶ディスプレイ[N8171-27]	70	32
18 型液晶ディスプレイ[N8171-26]	80	65

※消費電力は筐体内に内蔵したオプションの電力を含む。

注意 1: N8180-46、N8142-23 は、AC 入力に標準入力プラグ (NEMA5-15P) を使用しています。標準入力プラグ (NEMA5-15P) のままでは最大容量を使用することはできません (1200VA 以下まで使用可能)。最大容量 (1200VA~) を必要とする場合は、20A のプラグおよびコンセントに変更工事が必要です。電源工事を行う場合は、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

負荷	プラグ	コンセント
0~1200VA	NEMA5-15P	NEMA5-15R
1200~1500VA	NEMA5-20P 相当	NEMA5-20R 相当

有効電力(W)は標準プラグでも最大値(N8180-46: 980W、N8142-23: 980W)まで使用可能。

注意 2: N8142-11A は、AC 入力に回し固定プラグ(NEMA L5-30P)を使用しています。回し固定プラグ (NEMA L5-30P)のままでは最大容量を使用することはできません (2250VA 以下/2250W 以下まで使用可能)。最大容量 (2250VA~3000VA/2250W 以下) を必要とする場合は、本装置標準のプラグではなく、HARD WIREによる、端子台接続に変更工事が必要です。入力プラグおよび入力コンセント(端子台)の電源工事を行う場合は、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

負荷	プラグ	コンセント
0~2250V A	NEMA L5-30P	NEMA L5-30R
2250~3000VA	HARD WIRE	端子台

注意 3: N8142-24 は AC200V 入出力タイプの UPS です。AC 入力に回し固定プラグ (NEMA L6-30P:AC200V)を使用し、AC 出力に回し固定コンセント (AC200V/30A: NEMAL6-30R × 2, AC200V/20A: NEMAL6-20R × 2)を実装しています。回し固定プラグ(NEMA L6-30P)接続するためにコンセント (L6-30R) 設置電気工事が必要です。AC200V の負荷装置を接続する場合、UPS の AC200V/30A (NEMAL6-30R)または AC200V/20A (NEMAL6-20R) のコンセントに接続するか、AC200V/30A (NEMAL6-30R) から AC200V/15A (L6-15R) コンセントに分配する AC タップ (N8180-47: L6-15R × 6)を使用して AC200V を給電できます。AC100V の負荷装置を接続する場合は、本 UPS に別オプションの電圧変換トランス (N8180-43: L6-30R に接続)を接続して AC100V (L5-15R × 12)に変換可能です。変換トランスを併用する場合、保守対応のために、UPS 用と別に商用コンセント (L6-30R) を1口追加設置が必要です。入力コンセント (L6-30R) の電源工事を行う場合は、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

装置	プラグ	コンセント
N8142-24 (5000VA-UPS)	NEMAL6-30P	NEMAL6-30 × 2、NEMAL6-20R × 2
N8180-47 (AC タップ)	NEMAL6-30P	NAMAL6-15R × 6 (AC200V)
N8180-43 (変換トランス)	NEMAL6-30P	NEMAL5-15 × 12 (AC100V)

尚、UPS は皮相電力(VA)、有効電力(W)両方の供給電力容量に注意願います。消費電力の計算方法については、「(1)UPS の選択」を参照して計算願います。

(2) 制御ソフトウェアの選択

OS	(サーバ直結接続) COM port 経由で制御する場合	(LAN 経由接続) SNMP カード経由で制御する場合
Windows NT 4.0	UL1047-302 *1 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セ ット) (推奨) または UL1057-201 PowerChute plus v5.2.3J	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 + UL1046-502 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1
Windows 2000	UL1047-103 *2 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PCBE セット) (推奨) または UL1057-102 *3 PowerChute Business Edition v.7.0 または UL1047-302 *1 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セ ット) または UL1057-201 PowerChute plus v5.2.3J	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 + UL1046-502 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1
Windows Server 2003	UL1047-103 *2 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PCBE セット) (推奨) または UL1057-102 *3 PowerChute Business Edition v.7.0	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 + UL1046-502 *6 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1
Windows NT 3.51	UL1057-001 PowerChute <i>plus</i> 5.11J	—
NetWare	UL2057-001 PowerChute <i>plus</i> 4.3.3	—
Linux	UL4001-102 *4 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版) (推奨) または UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0 もしくは、PowerChute <i>plus</i> を APC 社 の Web からダウンロードしてくださ い。*5	UL4008-003 ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1
備考	UL 型番の製品は全て接続用ケーブル 標準添付	ESMPRO/UPSManager および、 PowerChute <i>plus</i> 、PowerChute Business Edition は使用できません。

*1 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セット)は、PowerChute *plus*、PowerChute Business Edition、および ESMPRO/UPSController の UPS 制御ソフトウェアのみを使用する運用に比べ、優れた運用操作性を含む統合的な管理が可能。

ESMPRO シリーズと連携し、統合運用管理も可能。(UL1057-201 PowerChute *plus* v5.2.3J、インターフェースキット (ケーブル) を含む)

*2 ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PCBE セット)は、PowerChute *plus*、および PowerChute Business Edition の UPS 制御ソフトウェアのみを使用する運用に比べ、優れた運用操作性を含む

統合的な管理が可能。

ESMPRO シリーズと連携し、統合運用管理も可能。(UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0、インタフェースキット (ケーブル) を含む)

- *3 UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0 は NAS サーバ上での UPS 制御機能を提供など、PowerChute *plus* では実現できなかった機能を提供しています。しかし、冗長無停電電源装置のサポートなど PowerChute *plus* でのみ提供している機能がありますので、使用環境に適した製品の導入を検討してください。(「UPS の接続上の注意事項」を参照してください)
- *4 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版) は PowerChute Business Edition の UPS 制御ソフトウェアのみを使用する運用に比べ、優れた運用操作性を含む統合的な管理が可能。ESMPRO シリーズと連携し、統合運用管理も可能。(UL1057-102 PowerChute Business Edition v.7.0、インタフェースキット (ケーブル) を含む)
- *5 <http://www.apc.co.jp/>。別途、ケーブル (UPS インタフェースキット [Linux 用] N8580-39) の購入必要。
- *6 ESS RL2003/06 版よりサポート。

無停電電源装置 500VA (PowerChute Business Edition v.7.0、UPS インタフェース キット添付)
購入の場合、または PowerChute *plus* (Windows NT/2000 版) Ver 5.11J 以降、または PowerChute Business Edition を単体で手配の場合、または ESMPRO/UPSController をご使用の場合、
下記製品を手配いただくことで、「PowerChute *plus*」、「PowerChute Business Edition」及び「ESMPRO/UPSController」から「ESMPRO/UPSManager」にアップグレードが可能です。

UL1047-312 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 CoreKit

Linux 環境で PowerChute Business Edition を単体で手配の場合、
下記製品を手配いただくことで、「PowerChute Business Edition」から「ESMPRO/UPSManager」にアップグレードが可能です。

UL4001-103 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (Linux 版) CoreKit

PowerChute *plus* のライセンスについて

N8180-14 UPS インタフェース拡張ボード及び N8180-41 マルチサーバ接続 BOX (Share UPS) を使用して一台の UPS に複数のサーバを接続して使用する場合に必要な PowerChute *plus* のライセンスは、マスターサーバ (SmartSignalling) (N8142-17 A の場合は Symmetry) にインストールする一つのみです。スレーブサーバ (SimpleSignalling) への PowerChute *plus* のインストールはマスターサーバへインストールした PowerChute *plus* の媒体を使用してください。

PowerChute Business Edition のライセンスについて

N8180-14 UPS インタフェース拡張ボード及び N8180-41 マルチサーバ接続 BOX (Share UPS) を使用して一台の UPS に複数のサーバを接続して使用する場合に必要な PowerChute Business Edition のライセンスは、マスターサーバ (SmartSignalling) にインストールする一つのみです。スレーブサーバ (SimpleSignalling) への PowerChute Business Edition のインストールはマスターサーバへインストールした PowerChute Business Edition の媒体を使用してください。

(3) 対応ケーブル

シングルサーバ構成の場合

使用 OS、ソフト	ケーブル
ESMPRO/UPSManager (PC+セット) または PowerChute <i>plus</i> を使用する場合 (WindowsNT/2000、NetWare)	各 UL コードの ESMPRO/UPSManager、PowerChute <i>plus</i> に標準添付 (1.8m)
ESMPRO/UPSManager (PCBE セット) または PowerChute Business Edition を使用する場合 (Windows2000/Server2003、Linux)	各 UL コードの ESMPRO/UPSManager、PowerChute Business Edition に標準添付 (1.8m) USB 接続をサポートしている UPS 装置において、UPS に添付の USB ケーブルも可。但し COM と同時使用は不可。またLinuxは USB 使用不可。
OS 標準の UPS サービスを使用する場合 (WindowsNT/2000、NetWare)	N8580-04 UPS インタフェースキット(1.8m)
Linux で PowerChute <i>plus</i> を使用する場合	N8580-39 UPS インタフェースキット(1.8m)

マルチサーバ構成の場合

使用ハード	マスターサーバ	スレーブサーバ
N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードまたは N8180-41 マルチサーバ接続 BOX (Share UPS) を使用	各 UL コードの ESMPRO/UPSManager、PowerChute <i>plus</i> 、PowerChute Business Edition に標準添付 (1.8m) *1	N8580-04 UPS インタフェースキット(1.8m) *2

*1 Linux で各ディストリビュータにバンドルされた PowerChute *plus* または APC 社の Web からダウンロードした PowerChute *plus* を使用する場合は、N8580-39 UPS インタフェースキット (1.8m)の購入が必要

*2 Linux で各ディストリビュータにバンドルされた PowerChute *plus* または APC 社の Web からダウンロードした PowerChute *plus* を使用する場合は、N8580-04 UPS インタフェースキットの代わりに、N8580-42 Share-UPS 接続ケーブル for Linux が必要

UPS-サーバ間の接続ケーブルを延長する場合は、N8580-15 UPS インタフェースキット延長ケーブル (4.5m) を使用してください。延長ケーブルを 2 本以上使用した延長は不可です。

本ケーブルは、ESMPRO/UPSManager 及び PowerChute *plus* 及び PowerChute Business Edition に添付の UPS 接続ケーブル、N8580-39 UPS インタフェースキット (Linux 用)、N8580-42 ShareUPS 接続ケーブル for Linux、及び N8580-04 UPS インタフェースキットの延長時に使用可能です。

本ケーブルは UPS インタフェースキットと UPS の間に接続してください。

UPS の接続上の注意事項

UPS オプション接続可能台数と出力コンセント数

無停電電源装置	オプション接続可能台数(N8180-xx)	出力コンセント
	UPS 拡張ボード／SNMP カード [N8180-14] [N8180-32A]	制御通電
タワータイプ		
(500VA)[N8180-34]	0	4
(700VA)[N8180-11]	1	4
(1000VA)[N8180-45]	1	8
(1500VA)[N8180-46]	1	8
ラックマウントタイプ		
(750VA)[N8142-22]	1	4
(1500VA)[N8142-23]	1	6
(3000VA)[N8142-11A]	1	8
[N8142-17A]+[N8180-43]	1*1	12*2
(5000VA)[N8142-24]	1*1	2:L6-30R,2:L6-20R *2
[N8142-24]+[N8180-43]	1*1	12*2

*1 SNMP カード [N8180-32A] 標準搭載

*2 AC100VA 出力にためには N8180-43 (電圧変換トランス必須)

UPS のバッテリーテストについて

- ・ UPS のバッテリーテストには、PowerChute *plus* 及び PowerChute Business Edition などのソフトウェアから実施するバッテリーテストと UPS 単体で実施するバッテリーテストの 2 種類があります。
- ・ バッテリーテストの結果は、UPS の LED 表示、及び ESMR/UPSManager・PowerChute *plus*・PowerChute Business Edition などのソフトウェアの画面で確認可能です。

UPS のバッテリー寿命について

- ・ UPS で使用しているバッテリーは、通常使用時(使用温度 20℃環境)でおよそ 3 年です。予防保全のためお早めの交換 (2.5 年) をお勧めします。また、バッテリー寿命は負荷率や周囲温度によって大きく (周囲温度が 40℃の場合 1.2 年) 変化しますので、ご注意ください。
- ・ ラックマウントタイプでは周囲温度(使用温度環境)が UPS の搭載されるラック内部温度となり、室温より 5～10℃高くなるため、ラック内部の温度を確認し、期待寿命を推定願います。
- ・ 寿命を過ぎたバッテリーを交換しないまま使用した場合、バッテリー容器の劣化により液漏れを起こすことがあります。漏れた液には硫酸が混ざっていますので、発煙や火災の原因となります。

N8180-34

使用温度環境	期待寿命	バッテリー交換時期
20℃	5 年	4.5 年
30℃	4 年	3.5 年
40℃	2.5 年	2 年

N8180-34 以外の SmartUPS

使用温度環境	期待寿命	バッテリー交換時期
20℃	3 年	2.5 年
30℃	2.5 年	2 年
40℃	1.4 年	1.2 年

SNMP カード経由で制御する場合

(Windows NT 4.0、Windows 2000)

SNMP カードを使用する場合は、ESMPRO/AutomaticRunningControllerVer3.21(ESS RL2000/09 に収録)以降 及び、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.0 以降が必要です。

ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition は使用できません。

(Windows Server 2003)

SNMP カードを使用する場合は、ESMPRO/AutomaticRunningControllerVer3.33(ESS RL2003/06 に収録)以降 及び、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1e(ESS RL2003/06 に収録)以降が必要です。

ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition は使用できません。

(Linux)

SNMP カードを使用する場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1 が必要です。

PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition は使用できません。

UPS インタフェースケーブルの延長

- ・ UPS-サーバ間の接続ケーブルを延長する場合は、N8580-15 UPS インタフェースキット延長ケーブル (4.5m) を使用してください。延長ケーブルを 2 本以上使用した延長は不可です。
- ・ 本ケーブルは、ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition に添付の UPS 接続ケーブル、N8580-39 UPS インタフェースキット (Linux 用)、N8580-42 ShareUPS 接続ケーブル for Linux、及び N8580-04 UPS インタフェースキットの延長時に使用可能です。

WindowsNT/Windows2000 標準の UPS 制御を使用する場合

- ・ WindowsNT/Windows2000 標準の UPS 制御機能を使用する場合、N8580-04 UPS インタフェースキットが必要です。
- ・ OS 標準の UPS 制御機能を使用する場合、停電発生時にシャットダウンを実行するのみで、バッテリーの放電終止まで UPS の出力は停止せず、停電回復後の自動復電もできません。

クラスタ構成

クラスタ構成については、クラスタシステム構築ガイドを参照してください。

マルチサーバ構成

- ・ マルチサーバ構成を構築する場合、
サーバの台数（マルチサーバ 1 台＋スレーブサーバ N 台）によって以下の拡張オプション機器で接続してください。尚、N8142-24（5000VA）は拡張スロットに N8180-32A 標準搭載されているため、マルチサーバ構成は N8180-41 のみ使用。SNMP カード [N8180-32/32A] との併用はできません。
（構成例参照）

- ①サーバが 3 台以下…N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードを使用
（SNMP カード [N8180-32A] との併用はできません。）
- ②サーバが 4 台以上 8 台以下…N8180-41 マルチサーバ接続 BOX（Share UPS）を 1 台使用
- ③サーバが 9 台以上 15 台以下…N8180-41 マルチサーバ接続 BOX（Share UPS）を 2 台使用
N8180-14 と N8180-41 の併用はできません。

逆に複数の UPS で 1 台のサーバを制御することはできません。

UPS の AC 入力ケーブル

- UPS の AC 入力ケーブルは、タワータイプで 1.8m、ラックタイプで 2.5m です。
- 冗長無停電電源装置本体[N8142-17A] の AC 入力ケーブルは、2m です。
- 冗長無停電電源装置本体[N8142-17A]を除く UPS の AC 入力ケーブルは、1.8m です。
- N8142-11A を使用する場合は、AC 入力に大電流が流せる NEMA L5-30P コネクタを使用しており、通常の AC コンセントでは使用できないため、電源コンセントの工事が必要です。コンセントの工事は保守員または販売店にご相談願います。

このプラグは 2250VA/2250W 迄使用可能です。2250VA～3000VA/2250W の負荷接続の場合、入力プラグ(HARD WIRE)および入力コンセント(端子台)の変更工事が必要です。工事は保守員または販売店にご相談願います。

負荷	プラグ	コンセント
0～2250VA	NEMA L5-30P	NEMA L5-30R
2250～3000VA	H A R D W I R E	端子台

- 尚、UPS は皮相電力(VA)、有効電力(W)両方の供給電力容量に注意願います。消費電力の計算方法については、1 ページの「(1)UPS の選択」を参照願います。
- N8142-24 は AC200V 入出力タイプの UPS です。AC 入力に回し固定プラグ(NEMA L6-30P:AC200V)を使用し、AC 出力に回し固定コンセント (NEMAL6-30R×2, NEMAL6-20R×2) を実装しています。

回し固定プラグ(NEMA L6-30P)を接続するためにコンセント (L6-30R) 取り付電気工事が必要です。AC200V の負荷装置を接続する場合、UPS に実装されたコンセント (L6-30R) から AC200V/15A (L6-15R) コンセントに分配する AC タップ (N8180-47 : L6-15R×6 口) が製品化されています。AC100V の負荷装置を接続する場合は、本 UPS に別オプションの電圧変換トランス (N8180-43 : L6-30R に接続) を接続して AC100V (L5-15R×12) に変換可能です。変換トランスを併用する場合、保守対応のために UPS 用とは別に商用コンセント (L6-30R) を 1 口追加し、設置が必要です。入力コンセント(L6-30R)の電源工事を行う場合は、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

装置	プラグ	コンセント
N8142-24 (5000VA-UPS)	NEMAL6-30P	NEMAL6-30×2、NEMAL6-20R×2
N8180-47(AC タップ)	NEMAL6-30P	NAMAL6-15R×6 (AC200V/15A)
N8180-43 (変換トランス)	NEMAL6-30P	NEMAL5-15×12 (AC100V/15A)

- N8180-46、N8142-23 の製品名に記載された電力容量は AC ケーブルなどの日本の規格により 1200VA 以下まで使用可能です。最大負荷(1200VA～)を接続する場合、入力プラグ(20A)および入力コンセントの変更工事が必要です。工事は保守員または販売店にご相談願います。

負荷	プラグ	コンセント
0～1200VA	NEMA 5-15P	NEMA 5-15R
1200～1500VA	NEMA5-20P 相当	NEMA5-20P 相当

有効電力(W)は標準プラグでも最大値(N8180-46 : 980W、N8142-23 : 980W)まで使用可能

尚、UPS は皮相電力(VA)、有効電力(W)両方の供給電力容量に注意願います。消費電力の計算方法については、「(1)UPS の選択」を参照して計算願います。

- ・ 冗長無停電電源装置本体[N8142-17A]を使用する場合は、標準入力プラグ(NEMA L6-30P)コネクタを使用しており、通常のACコンセントでは使用できないため、30A-40A/AC200V 電源から NEMA L6-30R または、入力プラグ(HARD WIRE)を接続するための電源コンセント工事が必要です。
また、標準入力プラグ(NEMA L6-30P)のままでは、最大容量(30A / 6000VA) を使用することはできません。(25A / 5000VA まで使用可能)。
最大容量(30A / 6000VA)を必要とする場合は、本装置標準の入力用ケーブル、プラグではなく #10AWG のケーブルを使用し、端子台接続に取り替える必要があります。
また、分電盤回路への接続には資格を有した電気技術者が行う必要があるため、販売店または保守員にご相談願います。

電源タップ [N8580-35] (2 口)または [N8580-36] (4 口) を使用する場合

- ・ 電源タップ [N8580-35] (2 口)または [N8580-36] (4 口) を使用する場合は、各電源タップあたり 15A を越えないように機器を接続してください。
- ・ また電源タップを接続する UPS コンセント部の許容電力にも注意してください。

Linux に PowerChute *plus* を使用する場合は制限

- ・ Linux に PowerChute *plus* をインストールする場合は、Xwindow をインストールする必要があります。
- ・ /etc/sysconfig/network ファイルの中に、Gateway が指定されていないとモニタリングの画面が表示されません。

/etc/sysconfig/network ファイルにデフォルトゲートウェイを追加して下さい。

例)

GATEWAYDEV=eth0

GATEWAY=xxx.xxx.xxx.xxx (アドレスの指定は必須になります)

- ・ Linux に PowerChute *plus* をインストールしたサーバをマルチサーバ構成として使用する場合は、コンフォームモード*1での使用はできません。タイマーモード*2で使用してください。

詳細設定 (DIP-SW 設定) は、N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードまたは N8180-41 マルチサーバ接続 BOX (Share UPS) のマニュアルを参照してください。

*1 全サーバのシャットダウン完了を確認して UPS を停止するモード

*2 全サーバのシャットダウン完了を確認せずに、指定時間後に UPS を停止するモード

冗長 UPS の注意

- ・ N8142-17A の UPS 本体(8U サイズ)をラックの一番下、UPS の上に N8180-43 トランス(2U サイズ)をラックに実装して下さい。
- ・ UPS(→L6-30R/端子接続)とトランス(→UPS の L6-30 コンセント)の電源を忘れずに接続して下さい。
- ・ UPS のスロットに N8142-19(パワーモジュール)を実装時には、パワーモジュールを左側スロットの下のスロットから順番に実装して下さい。モジュール挿入の際、モジュールと本体のコネクタ勘合が堅い場合があります。勘合しにくい場合は、強めに挿入して下さい。
- ・ UPS のスロットに N8142-20(バッテリーモジュール)を実装時は、UPS 装置を稼働する直前まで実装しないで下さい。バッテリーモジュールを稼働していない UPS に実装するとバッテリー電力が消費され、バッテリー放電状態となりバッテリー不良となる危険性があります。
- ・ システム稼働前にバッテリー充電を実施願います。負荷装置接続前に、できるだけ(30 分以上)バッテリー充電(UPS 動作)を実施願います。
- ・ システム稼働後、長期の停止(3 連休程度)する場合は、N8142-20(バッテリーモジュール)を外して下さい。外さずに長期停止した場合、バッテリーが放電してしまいバッテリーが不良になってしまいます。

UPS の負荷制限

- ・ レーザープリンタを UPS に接続しないで下さい。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため UPS が過負荷状態になる可能性があります。レーザープリンタをどうしても接続したい場合は、プリント時、非プリント時の最大負荷をサポートできる定格容量の UPS かどうか、確認のうえご使用ください。

またプリンタの大電流で電圧降下が生じる場合、定格容量が十分な UPS でも運転切替を頻発する可能性があります。電源設備側の定格容量も考慮願います。

ご使用にあたっては、全ての接続装置が最大電力時に UPS が過負荷とならないことをテストしてください。

PowerChute Business Edition を使用する場合の制限

- ・ ESM/PRO/AutomaticRunningController は Ver3.3 以降で連携可能です。
- ・ PowerChute Business Edition v.7.0 を使用する場合、UPS 最大スリープ時間は 14 日 23 時間 54 分です。
- ・ PowerChute Business Edition v.6.1 を使用する場合、UPS 最大スリープ時間は 3 日 23 時間 54 分です。
- ・ PowerChute Business Edition を使用する場合、冗長無停電電源装置は使用できません。
- ・ PowerChute Business Edition がサポートする Linux のバージョンは以下の通りです。

PowerChute Business Edition v.6.1

Red Hat 7.1/7.2/7.3

Red Hat Enterprise Linux AS/ES 2.1

Turbo Linux Server7

PowerChute Business Edition v.7.0

Red Hat 7.3

Red Hat Enterprise Linux AS/ES 2.1/3

Miracle Linux Standard Edition 2.1

また、サポートされないアプライアンスサーバがありますので、導入の際にはご注意ください。

- ・ Linux 上で PowerChute Business Edition を使用する場合、日本語環境は「日本語(eucJP)」を使用してください。
- ・ Linux 上から PowerChute Business Edition にアクセスする場合には、Netscape(TM) 7.0 ブラウザを使用してください。
- ・ PowerChute Business Edition v.7.0 と PowerChute Business Edition v.6.1 との混在について
PowerChute Business Edition v.6.1 の PowerChute Business Edition エージェントを PowerChute Business Edition v.7.0 のサーバおよびコンソールにて管理することはできません。同様に、PowerChute Business Edition v.7.0 の PowerChute Business Edition エージェントを PowerChute Business Edition v.6.1 のサーバおよびコンソールにて管理することもできません。

また、PowerChute Business Edition v.6.1 コンソールから PowerChute Business Edition v.7.0 サーバへの接続、および PowerChute Business Edition v.7.0 コンソールから PowerChute Business

Edition v.6.1 サーバへの接続についても同様に未サポートです。

- PowerChute Business Edition をインストールした Linux サーバをマルチサーバ構成で使用する場合には、コンファームモード*1 での使用はできません。タイマーモード*2 で使用してください。

これは Linux サーバをマスタサーバ、スレーブサーバどちらに使用する場合でも同様です。

コンファームモードとタイマーモードの詳細設定（DIP-SW 設定）は、N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードまたは N8180-41 マルチサーバ接続 BOX（Share UPS）のマニュアルを参照してください。

*1 全サーバのシャットダウン完了を確認して UPS を停止するモード

*2 全サーバのシャットダウン完了を確認せずに、指定時間後に UPS を停止するモード

- PowerChute Business Edition と、ESMPRO/AutomaticRunningController を連携させるためには、ESMPRO/UPSManager が必須となります。

N8142-24:無停電電源装置（5000VA）を利用する際の制限事項

- PowerChute PLUS

本 UPS では使用できません。シリアルポートを使用して制御する場合は PowerChute Business Edition または、ESMPRO/AC の SNMP カードによる LAN 制御を使用願います。

- PowerChute Business Edition

(1)データログ表示にてバッテリー電圧の 100 の桁が表示されない。

PowerChute Business Edition コンソールよりデバイスのプロパティを表示し、[全般]ー[バッテリーステータス]の選択し、「バッテリー電圧」にて現在のバッテリー電圧を確認することができます。

(2) UPS がバイパスモードでない時、[診断]ー[バイパスモード]のバイパス状態の表示が切れている。
正しくは、「UPS はバイパスモードではありません」と表示されます。

(3) バイパスモードからオンラインに戻った際、PowerChute Business Edition イベントログに「電源回復」のログが、OS イベントビューア(アプリケーション)に「電源復旧」が記録される。

- ESMPRO/UPSManager

以下の問題を修正するためにはUpdate媒体（UPSM-020-001、UPSM-021-001以降）の適用が必要です。

(1)統計情報グラフの入力出力電圧の表示において、200V の表示が行えません。

- ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1

- ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1

ESMPRO/AC Enterpriseにおいては、以下の問題を修正するためにUpdate媒体（ESMARC-200411以降）の適用が必要です。

(1)AC Management Console（以下 AMC）の UPS 情報を表示するダイアログで、SNMP 設定情報の採取時に「電源異常検出感度」が「0」になり、そのまま情報の保存を行うと、値が入力範囲外であるとエラー表示されてしまいます。

この場合、値を設定範囲（1:自動）に手入力で修正し回避してください。

(2)AMC の UPS 情報を表示するダイアログで、「SNMP 設定情報の採取」ボタンで SNMP 設定情報

の採取すると、「バッテリー温度監視」の上限の値が0になります。その値で運用すると、温度異常を示すイベントが記録されます。

5000VA のバッテリー温度監視（上限値）の規定値として、以下の値を手入力で修正し回避してください。

バッテリー温度監視（上限）：45℃

(3)AMC の UPS 情報を表示するダイアログで、以下の UPS のパラメータの設定要求が正常終了しても、値がUPS に反映されないことがあります。

- ・ 異常発生時のブザータイミング
- ・ 異常検出時のブザータイマ
- ・ 自動バッテリーテストパターン

この場合、ブラウザで SNMP カードに直接アクセスし、上記パラメータの設定値を更新してください。

＜異常発生時のブザータイミング／異常検出時のブザータイマ＞

http://SNMP カードの IP アドレス

ユーザ名パスワードを入力してログイン

→Smart-UPS xxxx

→Configuration

[General Settings] - [Audible Alarm]の値を以下の何れかから選択

Power Fail (1:0)

Low Batt Only (2:0)

Off (3:0)

Power Fail+30Sec (1:30)

□括弧内は、AC Management Console 上の表示値

(異常発生時のブザータイミング：異常検出時のブザータイマ)

＜自動バッテリーテストパターン＞

http://SNMP カードの IP アドレス

ユーザ名パスワードを入力してログイン

→Smart-UPS xxxx

→Diagnostics

[Configure the UPS auto self-test schedule] - [Auto Self-Test]の値を以下の何れかから選

択

(括弧内は、AMC 上の表示値)

Every 7 Days (3)

Every 14 Days (2)

Never (5)

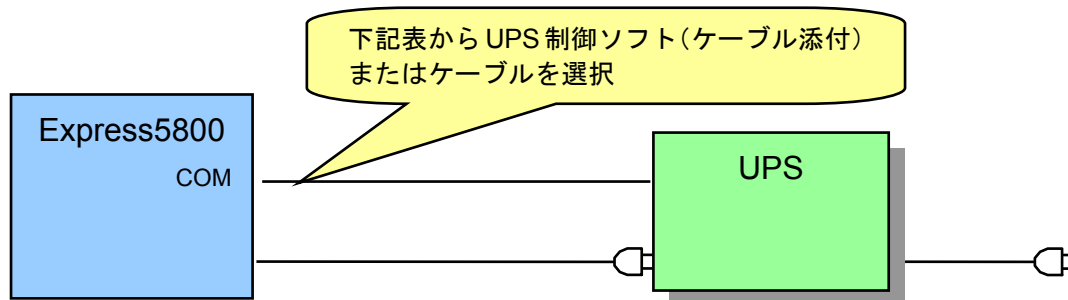
UPS Startup (4)

□括弧内は、AC Management Console 上の表示値

UPS 接続構成例

無停電電源装置（N8180-34/-11/-45/-46、N8142-22/23/-11A）の構成例

UPS の選択は UPS に接続する機器の消費電力（消費皮相電力(VA)および消費有効電力(W)のそれぞれ）の合計を算出し、その**総消費電力とバッテリーバックアップ時間**から選択してください。

①基本的な構成（COM port 経由で制御 サーバ 1台：UPS 1台）**■サーバ OS：WindowsNT4.0（以下のいずれかひとつ必須）**

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-302	ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セット)	30,000 円	UL1057-201 相当品（PowerChute 及び UPS 接続ケーブル）が含まれています。
UL1057-201	PowerChute <i>plus</i> Ver5.2.3J	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> v5.2.3J for WindowsNT4.0/2000/XP と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。（対応 OS：Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare）

■サーバ OS：Windows2000/Windows Server 2003（以下のいずれかひとつ必須）

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-103	ESMPRO/UPSManager Ver2.1（PowerChute Business Edition セット）	30,000 円	UL1057-102 相当品（PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル）が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。 N8180-34 は同等品が添付されています。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。（対応 OS：Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare）

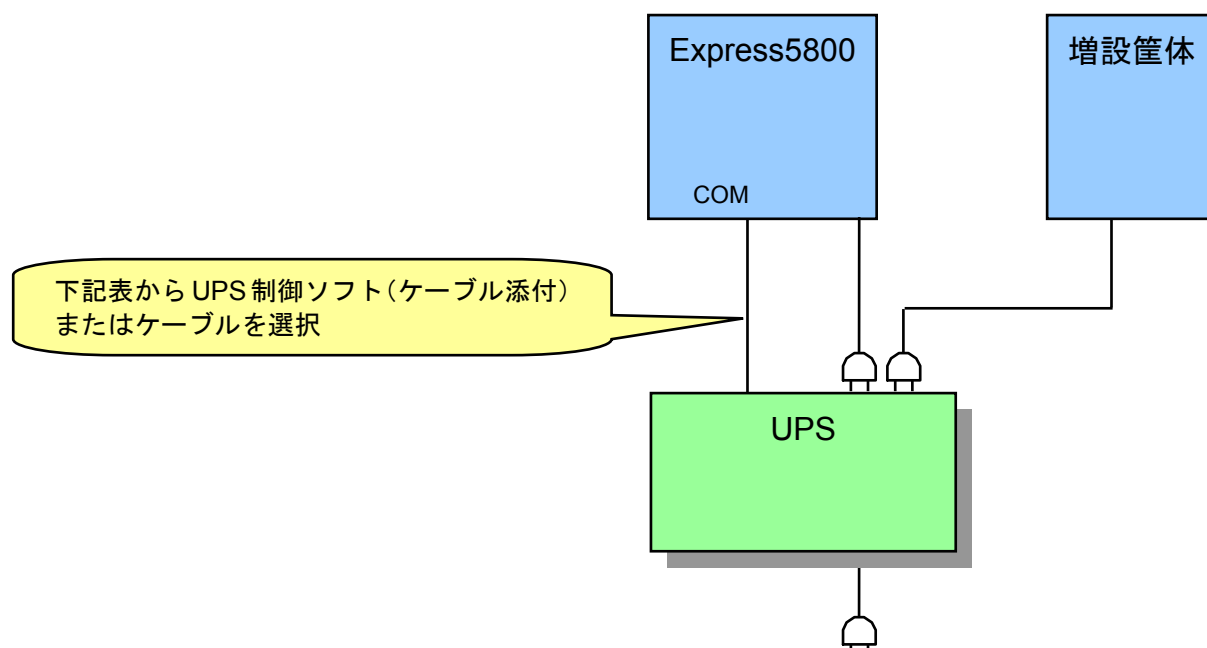
■サーバ OS : Linux (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL4001-102	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版)	30,000 円	UL1057-102 相 当 品 (PowerChute Business Edition v.7.0 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。N8180-34 は同等品が添付されています。
N8580-39	UPS インタフェースキット (Linux 用)	6,000 円	PowerChute <i>plus</i> for Linux 用 UPS 接続ケーブル。PowerChute <i>plus</i> は、各ディストリビュータのバンドル品又は APC 社の Web からダウンロードしたものを使用。

■サーバ OS : NetWare (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL2057-001	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3 for NetWare と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。NetWare3.12J は未対応。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。(対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003, NetWare)

②増設筐体を含む構成 1 (COM port 経由で制御 サーバ 1 台 : 増設筐体 1 台 : UPS 1 台)



■サーバ OS : WindowsNT4.0 (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-302	ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セット)	30,000 円	UL1057-201 相当品 (PowerChute 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-201	PowerChute <i>plus</i> Ver5.2.3J	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> v5.2.3J for WindowsNT4.0/2000/XP と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。(対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare)

■サーバ OS : Windows2000/Windows Server 2003 (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-103	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PowerChute Business Edition セット)	30,000 円	UL1057-102 相当品 (PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル(1.8m)のセット。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。(対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare)

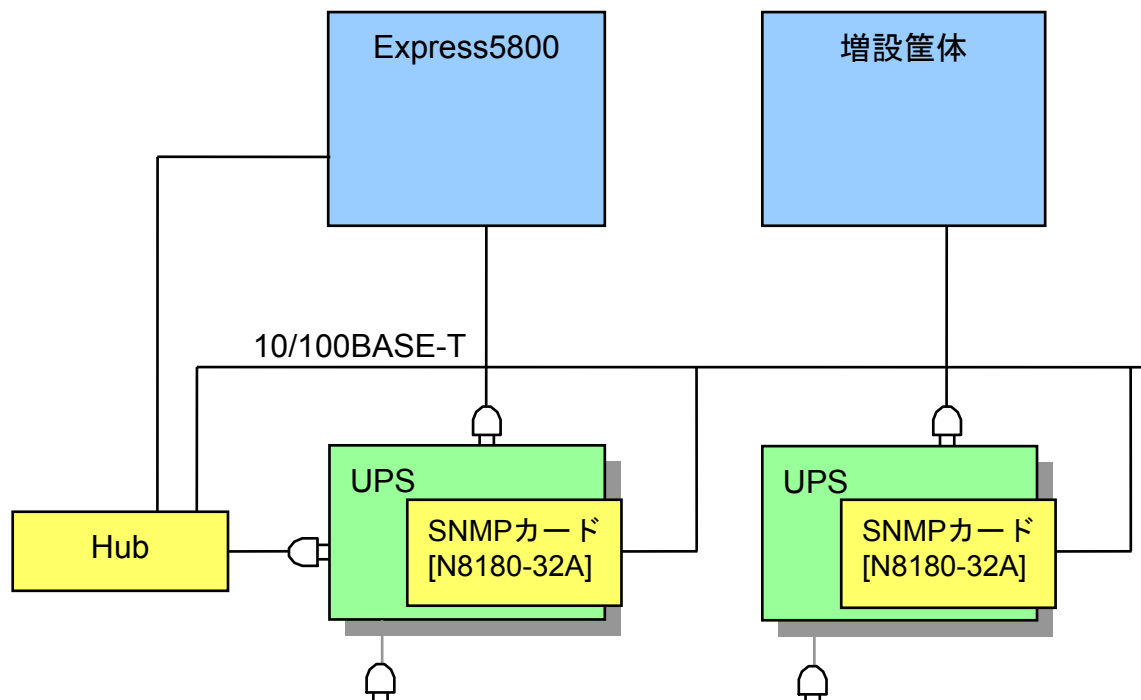
■サーバ OS : Linux (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL4001-102	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版)	30,000 円	UL1057-102 相 当 品 (PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。
N8580-39	UPS インタフェースキット(Linux用)	6,000 円	PowerChute <i>plus</i> for Linux 用 UPS 接続ケーブル。PowerChute <i>plus</i> は、各ディストリビュータのバンドル品又は APC 社の Web からダウンロードしたものを使用。

■サーバ OS : NetWare (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL2057-001	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3 for NetWare と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。NetWare3.12J は未対応。
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準の UPS サービス用接続ケーブル。(対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare)

③増設筐体を含む構成2（LAN 経由で制御 サーバ 1 台：増設筐体 1 台：UPS 2 台）



注意：SNMP カード使用時は、ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition は使用できません。

■サーバ OS：Windows Server 2003/Windows2000/NT4.0

型名	製品名	標準価格	備考
UL1046-B01 +	ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 +	80,000 円	
UL1046-502	ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1	20,000 円	

■サーバ OS：Linux

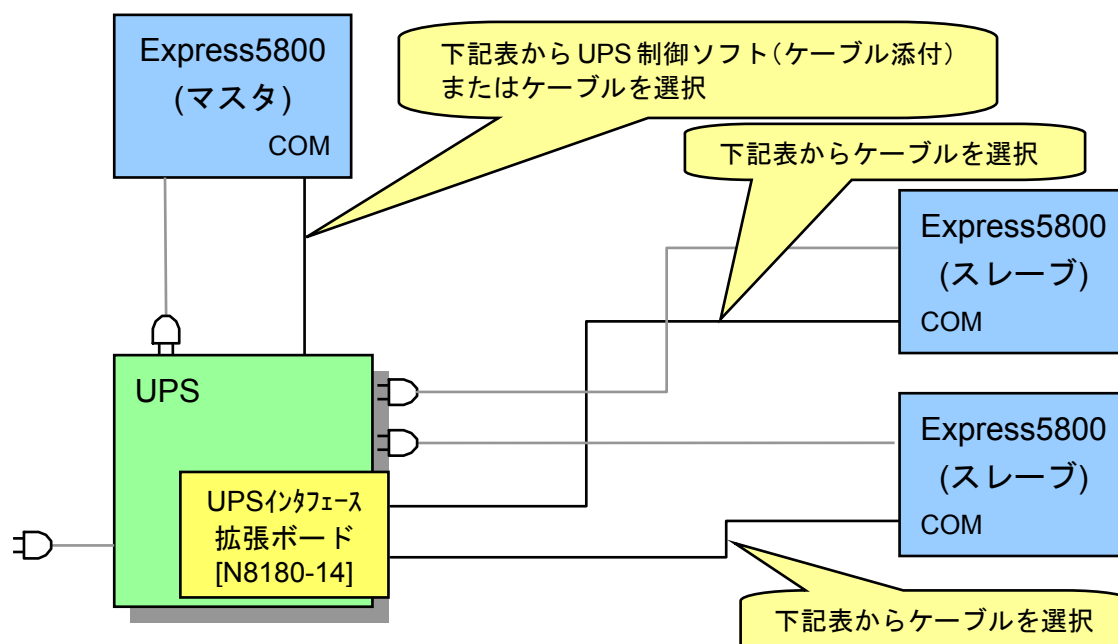
型名	製品名	標準価格	備考
UL4008-003	ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1	100,000 円	

■サーバ OS：NetWare

対応不可。②の構成で対応。

④マルチサーバ構成（COM port 経由で制御 サーバ 3 台まで：UPS 1 台） （N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードを使用する場合）

- ・ N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードを使用したマルチサーバ構成において、PowerChute *plus* と PowerChute Business Edition の混在構成は可能です。N8142-24 では実装不可。



注意本構成は、サーバを 3 台まで接続できます。

- ・ ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute Business Edition のライセンスは、マスターサーバ用ライセンス 1 台分で OK。ただし、インストールは、マスターサーバ/スレーブサーバ両方に行う。
 - ・ 詳細設定は、N8180-14 UPS インタフェース拡張ボードのマニュアルを参照してください。
 - ・ PowerChute *plus* インストール時のモード
 - マスターサーバ：Smart-UPS を選択（SmartSignal モード）
 - スレーブサーバ：Back-UPS を選択（SimpleSignal モード）
 - ・ ESMPRO/UPSManager のインストール
 - マスターサーバ：サーバをインストール
 - スレーブサーバ：マネージャをインストール（スレーブサーバ上でマネージャを使用する場合のみ）
 - ・ PowerChute Business Edition インストール時の UPS タイプの選択
 - マスターサーバ：Smart-UPS を選択（SmartSignal モード）
 - スレーブサーバ：「Interface Expander のベーシックポート」、または「Share-UPS のベーシックポート」を選択（SimpleSignal モード）
- 詳細は、添付のインストールガイドを参照してください。

■サーバ OS : WindowsNT4.0

(1) マスターサーバ (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-302	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PC+セット)	30,000 円	UL1057-201 相当品 (PowerChute 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-201	PowerChute <i>plus</i> Ver5.2.3J	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> v5.2.3J for Windows NT4.0/2000/XP と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。

(2) スレーブサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス / SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル (対応 OS : Windows NT/2000/XP/ Server2003, NetWare)

■サーバ OS : Windows2000/Windows Server 2003

(1) マスターサーバ (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-103	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PowerChute Business Edition セット)	30,000 円	UL1057-102 相当品 (PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。

(2) スレーブサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス / SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル (対応 OS : Windows NT/2000/XP/ Server2003, NetWare)

■サーバ OS : Linux

(1) マスターサーバ (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
UL4001-102	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版)	30,000 円	UL1057-102 相当品 (PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル) が含まれています。 なお、Linux ではコンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで请使用してください。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル (1.8m) のセット。
N8580-39	UPS インタフェースキット (Linux 用)	6,000 円	PowerChute <i>plus</i> for Linux 用 UPS 接続ケーブル。 PowerChute <i>plus</i> は、各ディストリビュータのバンドル品又は APC 社の Web からダウンロードしたものを使用。

(2) スレーブサーバ (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット(1.8m)	6,000 円	PowerChute Business Edition を SimpleSignal モードで使用する場合は UPS 接続ケーブル。 なお、Linux ではコンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで使用してください。
N8580-42	ShareUPS 接続ケーブル for Linux	6,000 円	各ディストリビュータにバンドルされた PowerChute <i>plus</i> または APC 社の Web からダウンロードした PowerChute <i>plus</i> を SimpleSignal モードで使用する場合は UPS 接続ケーブル (対応 OS : Linux) コンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで使用してください。

■サーバ OS : NetWare

(1) マスターサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL2057-001	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3 for NetWare と UPS 接続ケーブル(1.8m)のセット。 NetWare3.12J は未対応。

(2) スレーブサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス / SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル (対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003, NetWare)

⑤ マルチサーバ構成（COM port 経由で制御 サーバ 4 台以上 15 台以下：UPS 1台）
（N8180-41 ShareUPSを使用する場合）

N8180-41 ShareUPS を使用したマルチサーバ構成において、PowerChute *plus* と PowerChute Business Edition の混在構成は可能です。N8142-24 に接続する場合、マスタサーバは PowerChute Business Edition のインストールが必要です。

■サーバ OS : WindowsNT4.0

（１）マスタサーバ（以下のいずれかひとつ必須）

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-302	ESMPRO/UPSManager Ver2.1(PC+セット)	30,000 円	UL1057-201 相当品（PowerChute 及び UPS 接続ケーブル）が含まれています。
UL1057-201	PowerChute <i>plus</i> Ver5.2.3J	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> v5.2.3J for Windows NT4.0/2000/XP と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。

（２）スレーブサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス／SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル （対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare）

■サーバ OS : Windows2000/Windows Server 2003

（１）マスタサーバ（以下のいずれかひとつ必須）

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-103	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PowerChute Business Edition セット)	30,000 円	UL1057-102 相当品（PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル）が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。

（２）スレーブサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス／SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル （対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare）

■サーバ OS : Linux

（１）マスタサーバ（以下のいずれかひとつ必須）

型名	製品名	標準価格	備考
UL4001-102	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBE セット) (Linux 版)	30,000 円	UL1057-102 相当品（PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル）が含まれています。 なお、Linux ではコンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで使用してください。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。
N8580-39	UPS インタフェースキット (Linux 用)	6,000 円	PowerChute <i>plus</i> for Linux 用 UPS 接続ケーブル。 PowerChute <i>plus</i> は、各ディストリビュータのバンドル品又は APC 社の Web からダウンロードしたものを使用。

(2) スレーブサーバ (以下のいずれかひとつ必須)

型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット(1.8m)	6,000 円	PowerChute Business Edition を SimpleSignal モードで使用する場合は UPS 接続ケーブル。 なお、Linux ではコンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで使用してください。
N8580-42	ShareUPS 接続ケーブル for Linux	6,000 円	各ディストリビュータにバンドルされた PowerChute <i>plus</i> または APC 社の Web からダウンロードした PowerChute <i>plus</i> を SimpleSignal モードで使用する場合は UPS 接続ケーブル (対応 OS : Linux) コンフォームモードでの使用はできません。タイマーモードで使用してください。

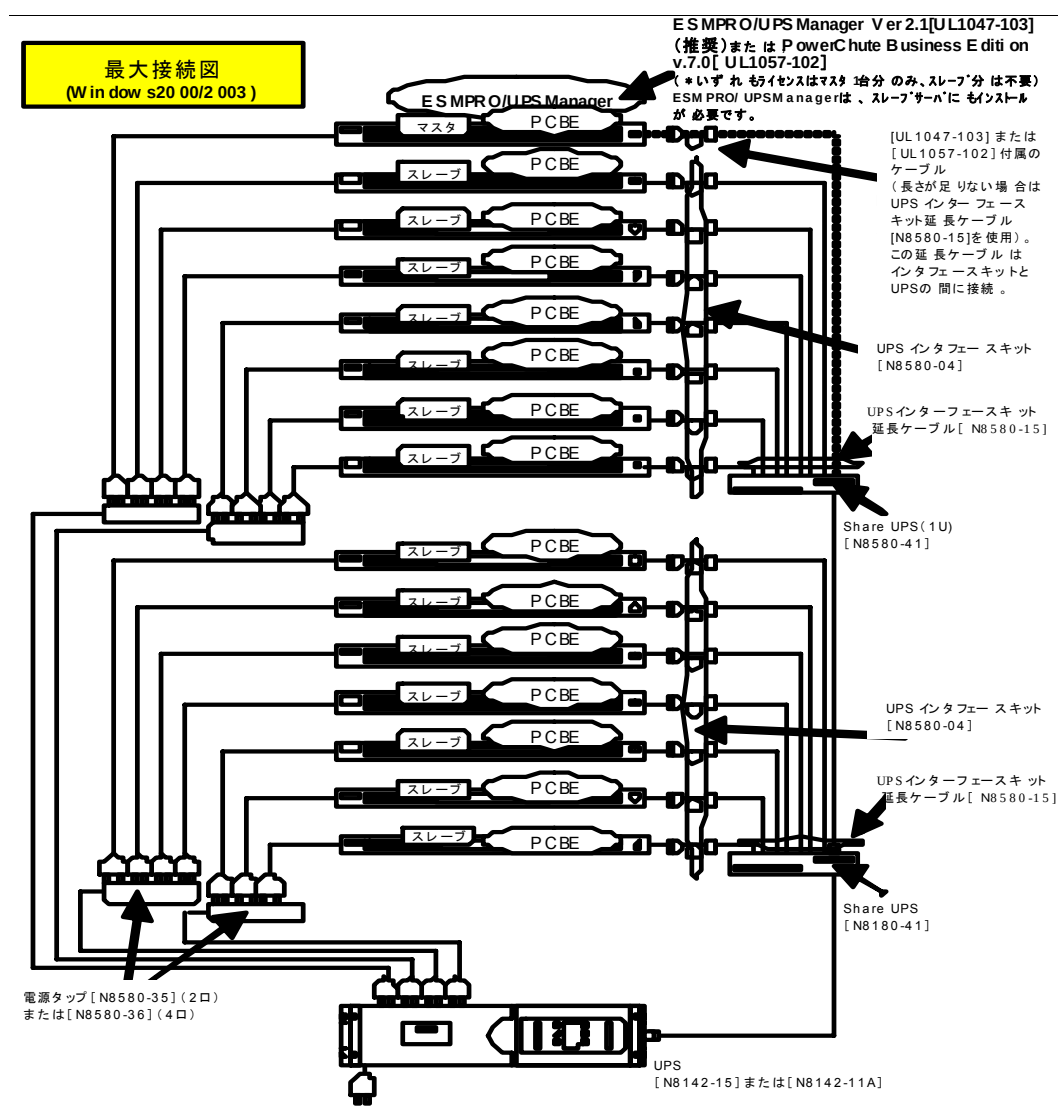
■サーバ OS : NetWare

(1) マスターサーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL2057-001	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3	15,700 円	PowerChute <i>plus</i> Ver4.3.3 for NetWare と UPS 接続ケーブル(1.8m)のセット。 NetWare3.12J は未対応。

(2) スレーブサーバ

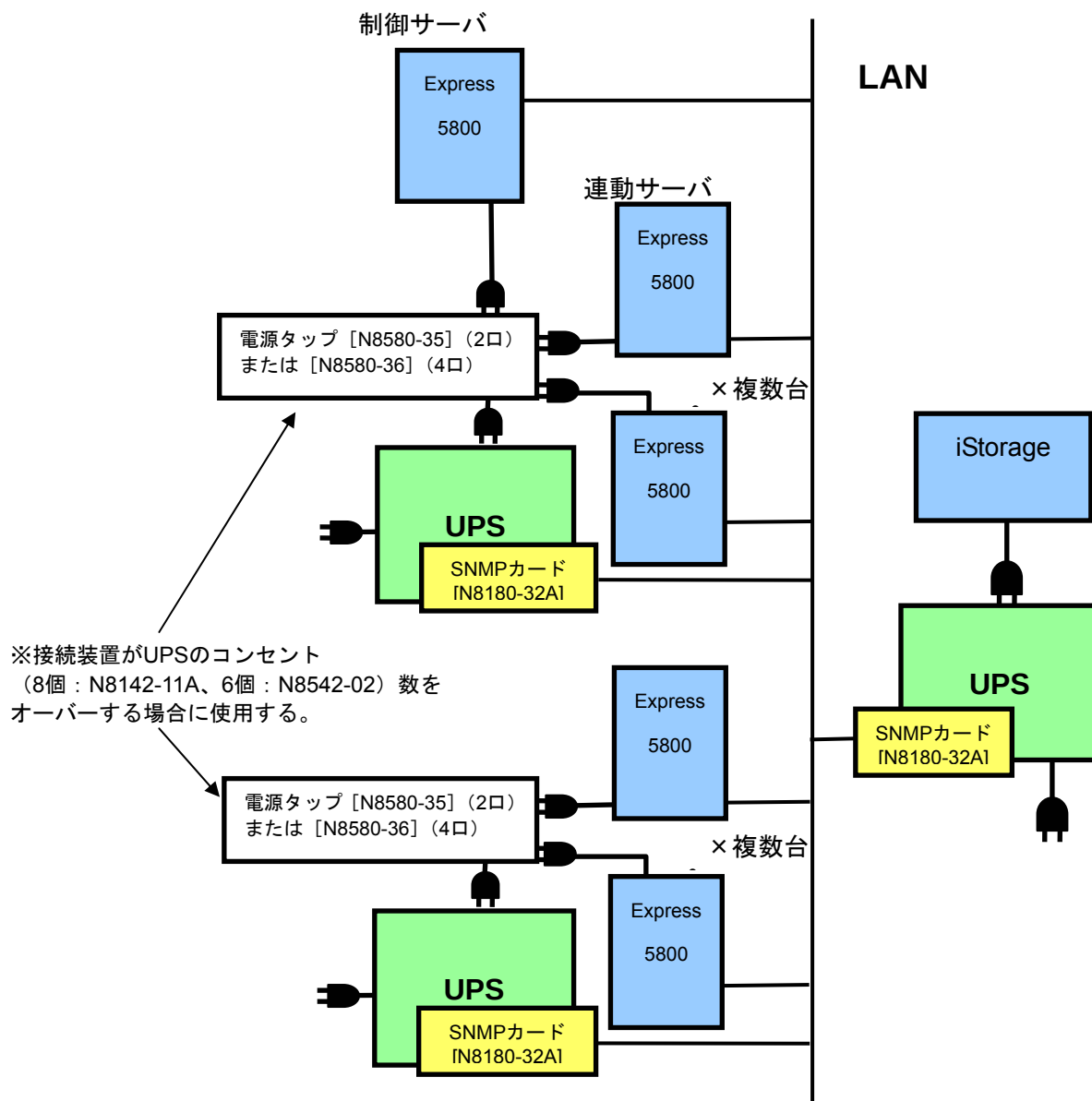
型名	製品名	標準価格	備考
N8580-04	UPS インタフェースキット	6,000 円	OS 標準 UPS サービス/SimpleSignal モード用 UPS 接続ケーブル (対応 OS : Windows NT/2000/XP/Server2003,NetWare)



※電源コンセントは N8142-23 : 6 口、N8142-11A : 8 口あります。電源タップは足りなくなった口数に合わせて購入して下さい。むやみに口数を増やすと接続ミスの原因になります。またUPSの許容電力を超えないよう注意して下さい。

N8142-11A の場合は各コンセント部の許容電力にも注意して下さい。

⑥複数UPS構成（LAN経由で制御 サーバN台：UPS N台）の複数システム （ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション、SNMPカードを使用する場合）



制御サーバ

制御サーバとは SNMP を使用して UPS（SNMP カード搭載）を制御するサーバであり、自サーバおよびネットワーク上の連動サーバを管理するサーバです。

Windows OS の場合には、

ESMPRO/AutomaticRunningController +ESMPRO/AC Enterprise

Linux OS の場合には、

ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux

をインストールする必要があります。

連動サーバ

連動サーバとは制御サーバに管理されるサーバであり、ネットワーク上に制御サーバが存在する場合に運用可能なサーバです。連動サーバの電源

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをインストールする必要があります。

(注意)

Windows OSの場合、クラスタシステムのサーバに

ESMPRO/AutomaticRunningController +ESMPRO/AC Enterpriseのサーバを連動サーバとして動作させる場合があります。

(クラスタシステムの構成に関しては、クラスタシステム構築ガイドを参照して下さい。)

制御サーバは、ネットワーク経由で自サーバおよび複数台の連動サーバおよびUPSを一括管理します。したがって、制御サーバと連動サーバのシステムを構築する場合には、以下の条件が満たされている必要があります。

- ・ネットワーク機器が無停電化されていること。

(推奨：制御サーバに接続しているUPSでネットワーク機器も電源管理すること。)

- ・スケジュール運転を行う場合、連動サーバが稼動中（電源ON状態）の場合、制御サーバも稼動状態（電源ON状態）であるスケジュール運転であること。

- ・制御サーバは3台まで、連動サーバは制御サーバの台数に関係なく32台まで増設可能。

(制御サーバを増設することで、制御サーバが冗長化され、より安心なシステムを構築できます。)

- ・UPS1台に電源容量までサーバ接続可能。

(但し、消費電力が多いほどバッテリーの電源供給可能時間は短くなるため、バッテリーバックアップ時間に注意

すること)

- ・複数UPS、複数サーバを、制御サーバから一括で管理可能。
- ・LAN経由での管理が可能。
- ・LinuxサーバとWindowsサーバの混合の構成が可能です。

注意:SNMPカード使用時は、ESMPRO/UPSManager および PowerChute *plus* および PowerChute BusinessEdition は使用できません。

■サーバ OS : Windows Server2003/2000/NT4.0

(1) 制御サーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL1046-B01 +	ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 +	80,000 円	Windows Server 2003 は ESS RL2003/06 版以降で サポート
UL1046-502	ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1	20,000 円	

(2) 連動サーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL1046-003 又は	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0 1 ライセンス	25,000 円	連動サーバの台数分のラ イセンスが必要です。 Windows Server 2003 は ESS RL2003/06 版以降で サポート
UL1046-013	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0 4 ライセンス	90,000 円	

■サーバ OS : Linux

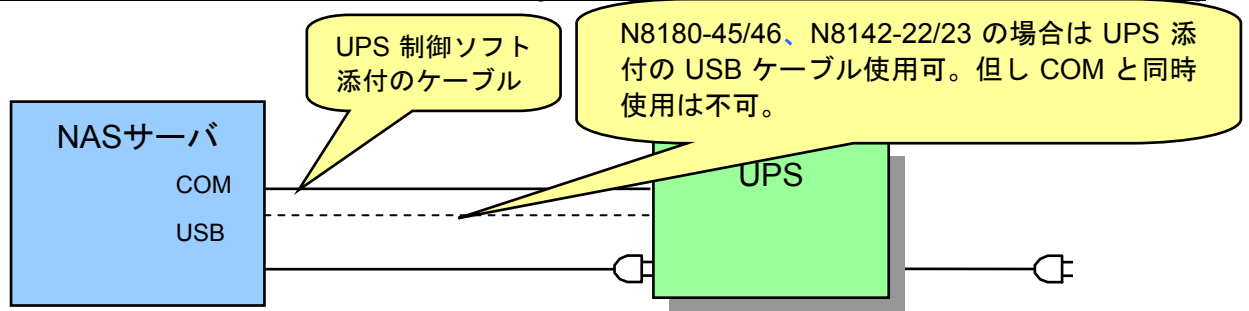
(1) 制御サーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL4008-003	ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1	100,000 円	

(2) 連動サーバ

型名	製品名	標準価格	備考
UL4008-001 又は	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0 1 ライセンス	25,000 円	Linux 版 連動サーバの台数分のラ イセンスが必要です。
UL4008-002	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver3.0 4 ライセンス	90,000 円	

⑦NASをシリアルケーブルで接続する構成(COM port 経由で制御 サーバ 1台 : UPS 1台)



■サーバ（以下のいずれかひとつ必須）

型名	製品名	標準価格	備考
UL1047-103	ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (PCBEセット)	30,000 円	UL1057-102 相 当 品 （ PowerChute Business Edition 及び UPS 接続ケーブル ） が含まれています。
UL1057-102	PowerChute Business Edition v.7.0	15,700 円	PowerChute Business Edition v.7.0 と UPS 接続ケーブル（1.8m）のセット。

I-UPS から Smart-UPS への移行に対する注意事項

制御ソフトウェアの考え方

Windows環境でのSmart-UPSの運用制御・管理には、ESMPRO/UPSManager (UL1047-103) のご利用を推奨します。

本製品は、Smart-UPSの制御用ソフトウェアとインタフェースキットを同梱しています。

無停電電源装置 500VA (PowerChute Business Edition v.7.0、UPS インタフェース キット添付) 購入の場合および、既にPowerChute *plus* (Ver 5.11J以降)、PowerChute Business Editionを利用の場合または、ESMPRO/UPSControllerをご使用の場合は、下記製品を手配いただくことで、「ESMPRO/UPSManager」と同等の機能をご利用いただけます。

UL1047-312 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 CoreKit

Linux環境でのSmart-UPSの運用制御・管理には、ESMPRO/UPSManager (UL4001-102) のご利用を推奨します。

本製品は、Smart-UPSの制御用ソフトウェアとインタフェースキットを同梱しています。

Linux環境でPowerChute Business Editionをご使用の場合は、下記製品を手配いただくことで、「ESMPRO/UPSManager」と同等の機能をご利用いただけます。

UL4001-103 ESMPRO/UPSManager Ver2.1 (Linux版) CoreKit

ESMPRO/UPSManager Ver2.1の機能

- ・ PowerChute *plus*、PowerChute Business Edition 及び ESMPRO/UPSController を使用する運用において、ネットワーク上の UPS の統合的な管理を可能とします。
- ・ PowerChute *plus*、PowerChute Business Edition に不足している機能 (UPS 設定、運用情報統計・表示、障害情報採取 等) を強化することにより、UPS の運用性を向上します。他の ESMPRO シリーズを利用している場合はもちろん、利用していない場合でも同様の導入効果を得られます。
- ・ Express サーバ管理機能 (Express バンドルソフト : ESMPRO/ServerAgent, ServerManager との連携) により、UPS も含めたシステム統合運用管理とサーバの安定稼働を実現します。
- ・ 既存の I-UPS を Smart-UPS に移行する場合は、この製品を導入することによって I-UPS と ESMPRO/UPSController の組み合わせとほぼ同等の運用制御・管理機能をご利用いただけます。

I-UPS と Smart-UPS の対応

タワータイプ

	I-UPS	Smart-UPS
500VA	—	N8180-34
700VA	—	N8180-11
1000VA	N8580-28AC	N8180-45
1400VA (1250VA)	N8580-29AC N8580-27	N8180-46

ラックタイプ

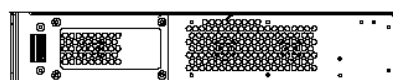
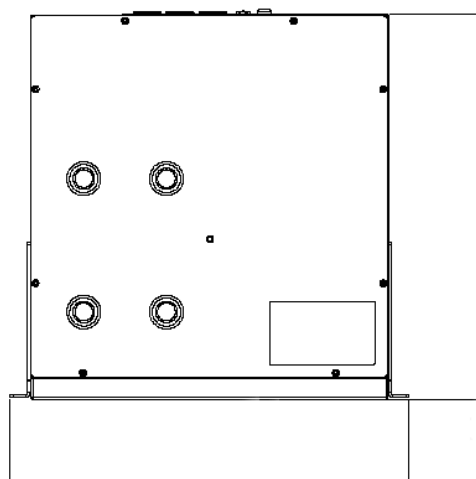
	I-UPS	Smart-UPS
1400VA (1250VA)	N8542-12	N8142-23
3000VA	N8542-08AC	N8142-11A

機能比較

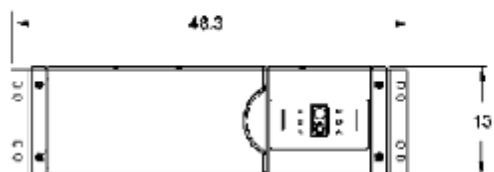
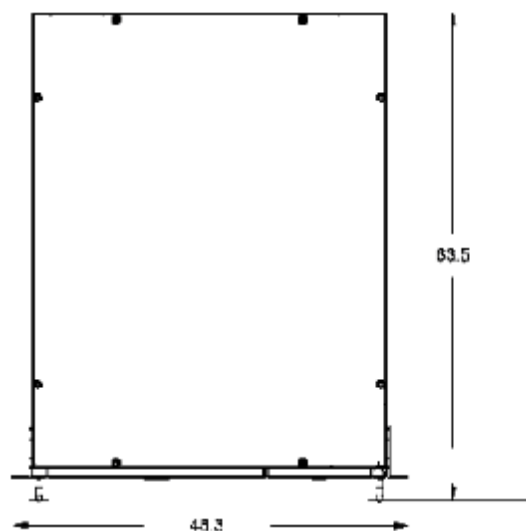
	I-UPS	Smart-UPS
管理ソフトウェア	ESMPRO /UPSController + ESMPRO/Automatic RunningController	ESMPRO /UPSManager + ESMPRO/Automatic RunningController
マルチサーバ接続	-マルチUPSボード (最大3台)	-UPSインターフェイス拡張ボード (最大3台) -Share-UPSを使用(最大15台) -SNMPカード(最大32台)
クラスタ構成	-クラスタ接続ボード (最大4ノード)	-SNMPカード(最大16ノード)
ネットワーク経 由での接続	-LAN接続ボード (ON/OFF制御のみサポート)	-SNMPカード (ON/OFF制御可能)

* UPS 接続構成例を参照の上、システム構成を検討して下さい。

・ 5.外観図

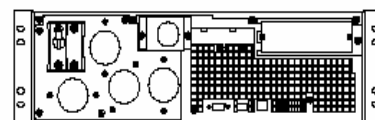
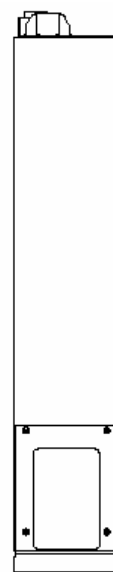
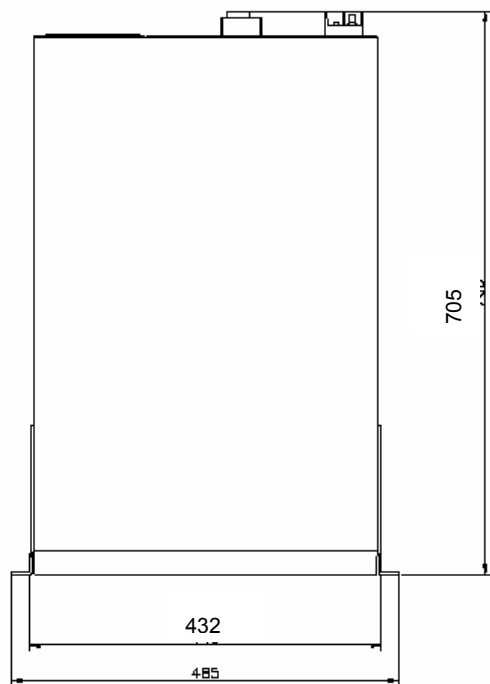


(N8142-23) 483mm(W) × 464mm(D) × 87mm(H)



(N8142-11A) 483mm(W) × 635mm(D) × 130mm(H)

無停電電源装置



裏面図

(N8142-24) 432mm(W) × 705mm(D) × 130mm(H)

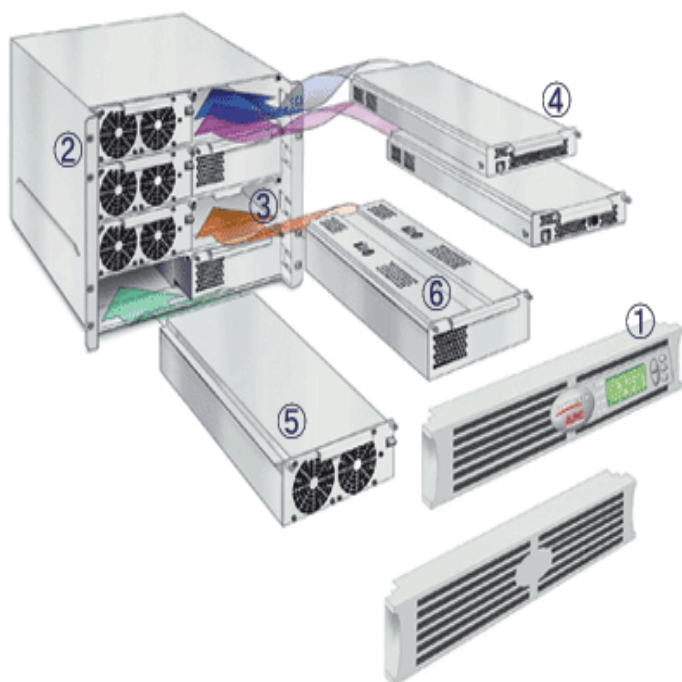
冗長無停電電源装置[N8142-17A]+電圧変換トランス[N8180-43] 外観図



(N8142-17A) 480mm(W) × 360mm(D) × 730mm(H)

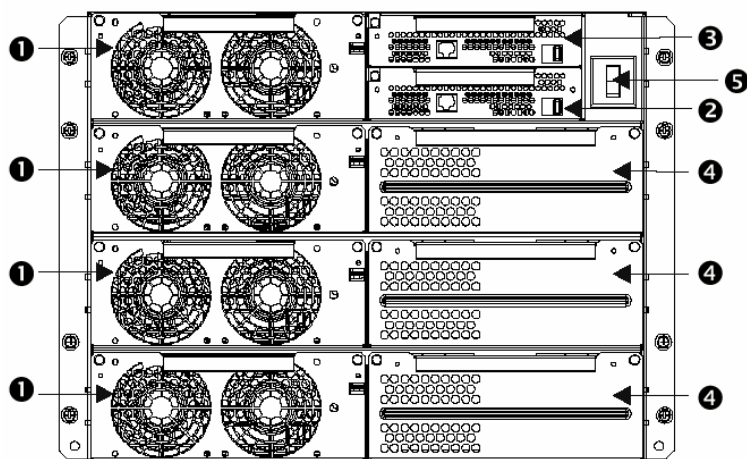
(N8180-43) 483mm(W) × 89(D) × 660mm(H)

冗長無停電電源装置[N8142-17A] 構成図 (N8142-19/20オプション追加しフル構成)



- ① ディスプレイベゼル(Power View)
- ② パワーモジュールスロット
- ③ バッテリモジュールスロット
- ④ 上：メインインテリジェンスモジュール
下：冗長インテリジェンスモジュール
- ⑤ パワーモジュール
- ⑥ バッテリモジュール

冗長無停電電源装置[N8142-17A] フロントカバー取外し図 (N8142-19/20オプション追加しフル構成)



パワーモジュール ①: 各モジュールにより、最高 2 kVA/1.4 KW 電源が供給可能です。UPS フレームは、最大 4 つのパワーモジュールを収納できます。

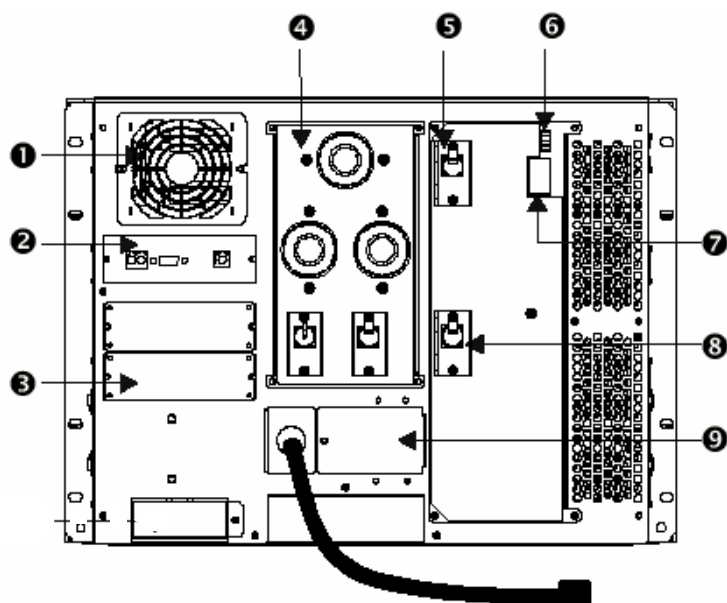
メインインテリジェンスモジュール ②: メインインテリジェンスモジュール (MIM) では、すべての監視、制御、通信機能が実施されます。

冗長インテリジェンスモジュール ③: 冗長インテリジェンスモジュール (RIM) では、MIM の故障の際のバックアップが提供されます。

バッテリーモジュール ④: 各バッテリーモジュールにより、電源バックアップが提供されます。

システムイネーブルスイッチ ⑤: 「On」位置で、UPS が内部でオンになりますが、負荷へは電源は供給されません。「Off」位置では、システムは内部でオフになります。

冗長無停電電源装置[N8142-17A] 背面図



システムファン ①: システムファンにより、フレームコンポーネントが冷却されます。

Symmetra 通信カード ②: 拡張バッテリーフレームのリモート管理および通信のシリアルインターフェースポートです。

アクセサリポート ③: 別売の SmartSlot™ アクセサリ用に 2 つのアクセサリポートが用意されています。そのうち 1 つはネットワークを経由したデータアクセス用の Web/SNMP Management Card が予めインストールされています。

配電ユニット (PDU) ④: 配電パネルには、負荷機器への接続用のコンセントがあります。

入力サーキットブレーカー ⑤: 入力サーキットブレーカーにより、UPS および負荷機器が著しい過負荷から保護されます。

緊急出力停止接続端子 (REPO) ⑥: REPO により、非常用の電源オフスイッチへの接続が装備されており、これにより UPS を完全停止させることができます。

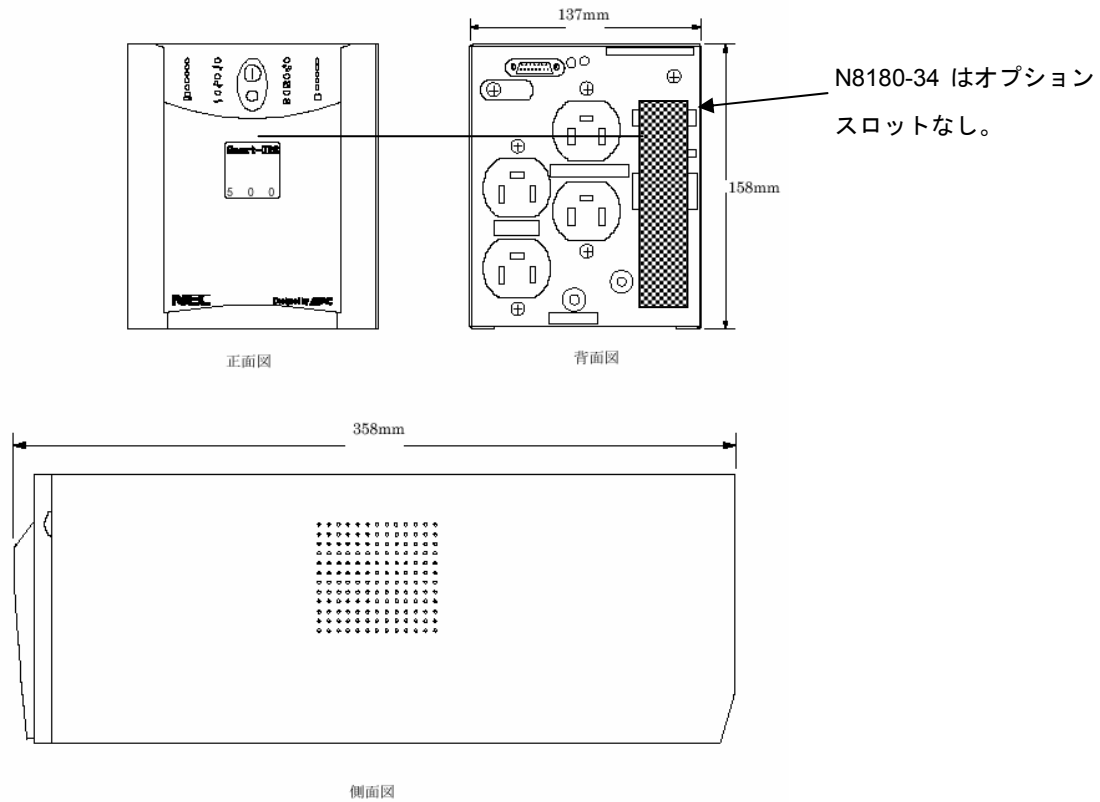
入力電圧切換えスイッチ ⑦: このスイッチは使用する入力電源に対応させて設定します。

保守バイパススイッチ ⑧: バイパス機能の手動制御用です。保守バイパススイッチが「On」位置のとき、電源は入力電源から負荷機器に直接供給されます。

入力配線 ⑨: 配線ターミナルブロックがここからアクセスでき、ハードワイヤーによる入力設定ができます。北米 (208 V) および日本 (200 V) などの地域向けに入力コードが接続されており、様々な用途に使用できます。

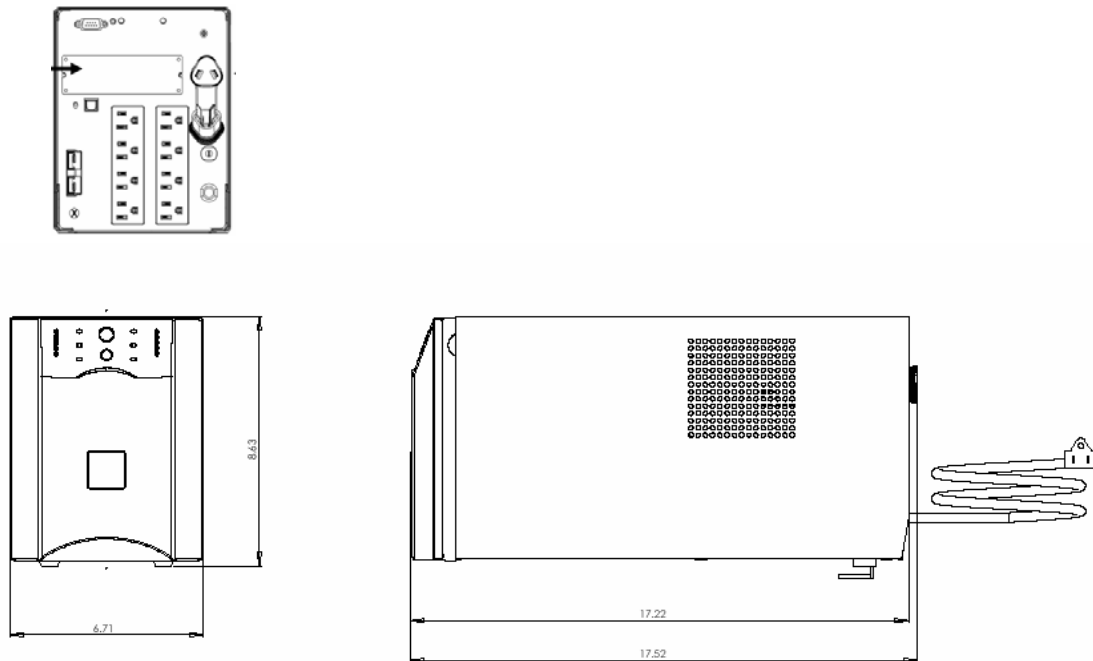
N8180-34/11 外観図

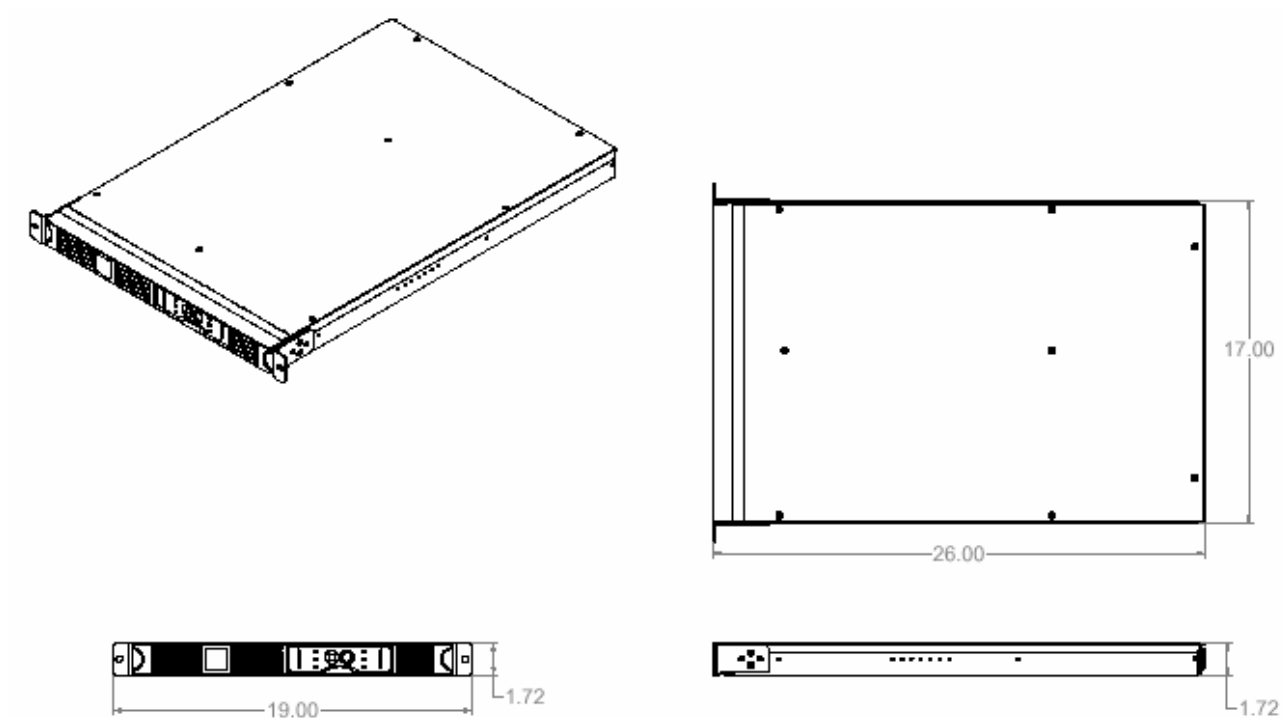
(N8180-34/11) 137mm(W) × 358mm(D) × 158mm(H)



N8180-45/46 外観図

(N8180-45/46) 170mm(W) × 445mm(D) × 219mm(H)





(N8142-22) 483mm(W) × 660mm(D) × 44mm(H)